

## 調査①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果（速報版）

### ①調査の目的

要介護状態になる前の高齢者リスクや社会参加状況を把握することで地域課題を特定し、生活支援の充実、高齢者の社会参加・支え合いの体制づくり、介護予防の推進等について検討する。

認知症、権利擁護などに対する意識やニーズを把握し、高齢者施策の推進について検討する。

### ②調査対象

・65歳以上の市民で要支援・要介護認定を受けていない者：2,600人

・65歳以上の市民で要支援1、2の認定者：1,000人

※令和元年11月1日現在の住民基本台帳及び要支援認定者から無作為抽出

### ③調査方法

・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

### ④調査時期

・令和元年11月22日～12月9日

### ⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
要介護認定を受けていない高齢者及び 要支援1・2の高齢者	3,600	2,572	71.4（%）	2,571	71.4（%）

## ⑥調査項目

項目	設問No.	設問
<b>A 基本属性</b>		
	F1	性別
	F2	年齢
	F3	居住地域
	F4	家族構成／世帯の状況
<b>B 就労意欲</b>		
	問 1	収入のある仕事の有無
	問 1-1	何歳まで仕事をしたいか
	問 1-2	仕事を続けるうえで重視する点
<b>C 生活状況</b>		
	問 2	要支援認定の状況
	問 3	介護・介助の状況
	問 3-1	主な介護・介助者
	問 4	介護が必要になった時に生活したい場所
	問 5	経済的にみた暮らしの状況
	問 6	住まい（一戸建て、集合住宅など）
	問 7	住まいや住環境で困っていること
<b>D からだを動かすこと</b>		
	問 8	手すりを使わずに階段を昇降すること
	問 9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること
	問 10	15分位続けて歩くこと
	問 11	過去1年間に転んだ経験
	問 12	転倒に対する不安
	問 13	外出状況
	問 14	昨年と比べた外出の回数
<b>E 食べること</b>		
	問 15	身長・体重（BMI）
	問 16	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか
	問 17	歯の数と入れ歯の利用状況
	問 17-1	毎日入れ歯の手入れをしているか
	問 18	誰かと食事をともにする機会
<b>F 毎日の生活</b>		
	問 19	物忘れの様子
	問 20	バスや電車を使って1人で外出すること（自家用車でも可）
	問 21	自分で食品・日用品の買物をする事
	問 22	自分で食事の用意をする事
	問 23	自分で請求書の支払いをする事
	問 24	自分で預貯金の出し入れをする事

<b>G 地域生活と日ごろの活動</b>	
問 25	会・グループ等への参加状況
問 26	地域づくり活動への参加者としての参加意向
問 27	地域づくり活動への企画・運営（お世話役）としての参加意向
問 28	これから参加したい活動
問 29	敬老の日記念大会の参加状況
問 29-1	その理由（自由回答）
問 30	敬老の日記念大会の参加意向
問 30-1	その理由（自由回答）
問 31	高齢者保養所利用助成の利用状況
問 32	生きがいの有無
問 33	生きがいづくり事業として望む支援（自由記述）
問 34	友人・知人と会う頻度
<b>H 認知症</b>	
問 35	本人又は家族に認知症の症状があるか
問 36	認知症に関する相談窓口を知っているか
問 36-1	知っている相談窓口
問 37	認知症に対するイメージ
問 38	認知症について知っていること
問 39	認知症予防啓発活動への参加状況
問 40	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと
<b>I たすけあい</b>	
問 41	心配事や愚痴を聞いてくれる人
問 42	心配事や愚痴を聞いてあげる人
問 43	看病や世話をしてくれる人
問 44	看病や世話をしてあげる人
問 45	近所づきあいの程度
問 46	地域からの役割の期待
問 47	地域の支え合い（手助けできること、過去に手助けをしたこと、手助けしてほしいこと）
<b>J 健康づくりや介護予防など</b>	
問 48	主観的健康観
問 49	主観的幸福度
問 50	1か月間にゆううつな気持ちになったりしたことがあったか
問 51	1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか
問 52	喫煙の状況
問 53	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
問 54	治療中の病気
問 55	介護予防に対する考え
問 56	介護予防事業の参加状況
問 56-1	介護予防事業の成果
<b>K 災害時の対応</b>	
問 57	災害時に助けてくれる人
問 58	災害に備えて取り組んでいること
問 59	災害時に手助けが必要な人にできること

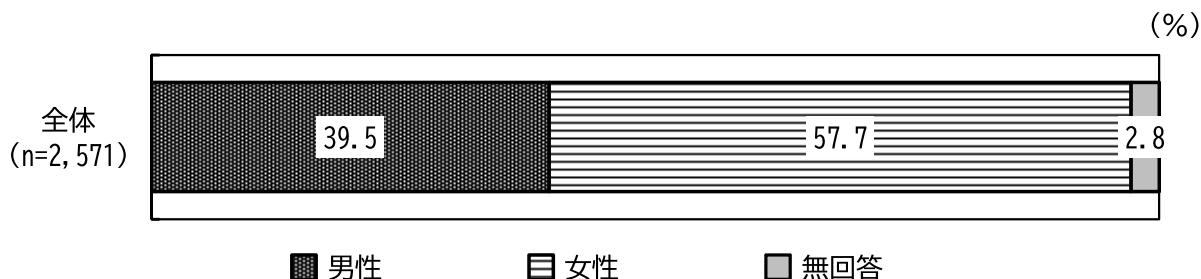
<b>L 情報</b>	
問 60	健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手先
問 61	暮らしの問題や福祉に関する相談先
問 61-1	地域包括支援センターの利用状況
<b>M 介護保険</b>	
問 62	介護保険サービスの認知度
<b>N 高齢者保健福祉サービス</b>	
問 63	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
<b>O 在宅療養</b>	
問 64	自宅で療養を続けたいと思うか
問 64-1	療養は可能だと思うか
問 64-2	そう思わない、難しいと思う理由は
<b>P 権利擁護</b>	
問 65	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度
<b>Q 意見・要望</b>	
問 66	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望

## ⑦調査結果の概要

### (1) 回答者について

あなたの性別をお答えください。(1つに○) (F1)

- ・「男性」が39.5%、「女性」が57.7%となっている。



あなたの年齢をお答えください。(令和元年11月1日現在) (1つに○) (F2)

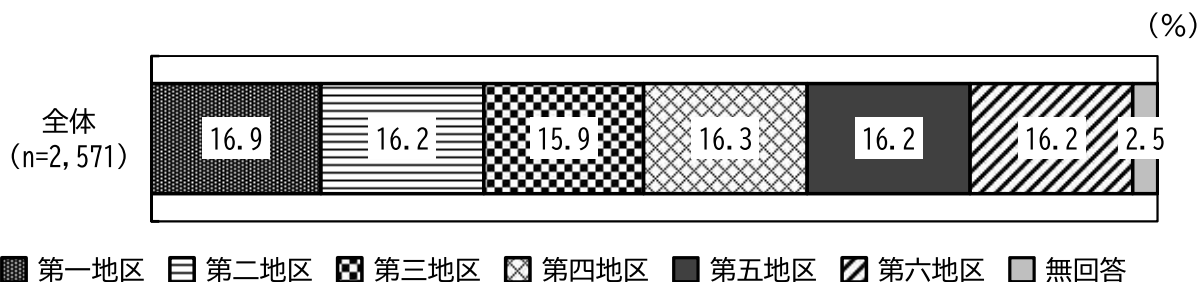
- ・「75～79歳」(22.3%)が最も多く、次いで「70～74歳」(22.0%)、「65～69歳」(19.6%)、「80～84歳」(18.0%)と続いている。



あなたが住まいの町名及び丁目を教えてください。(1) 町名 (1つに○) (F3)

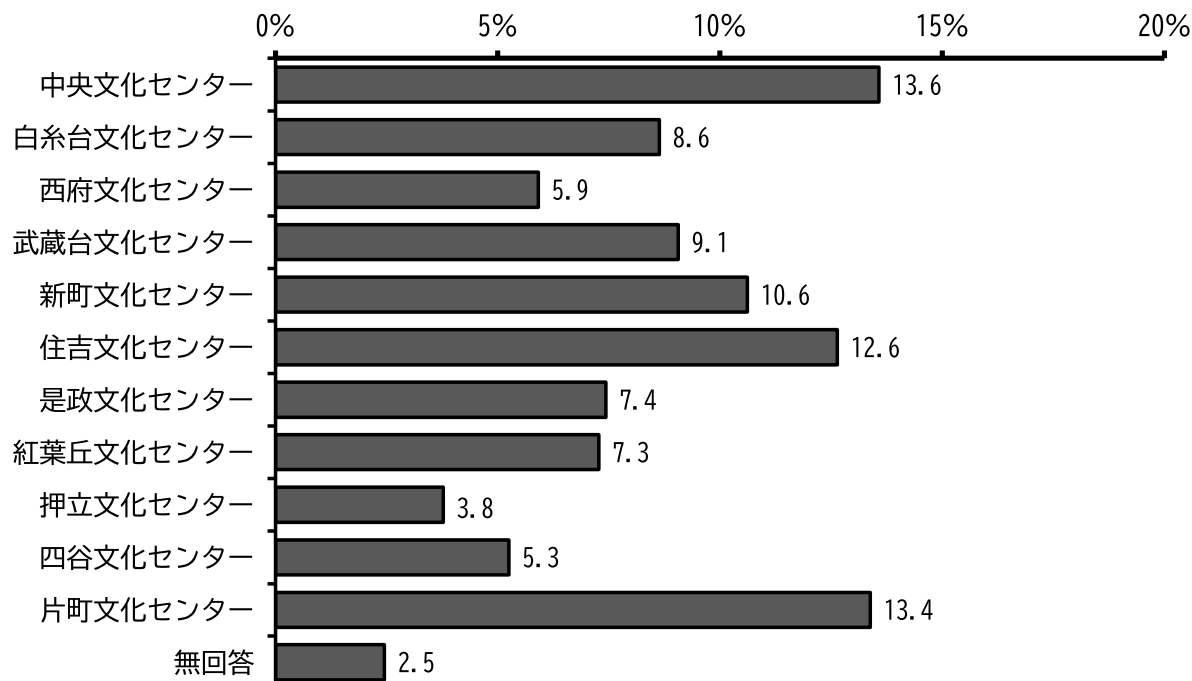
#### ○日常生活圏域(6区分)

- ・日常生活圏域では、「第一地区」(16.9%)が最も多く、次いで「第四地区」(16.3%)、「第二地区」「第五地区」「第六地区」(ともに16.2%)、「第三地区」(15.9%)と続いている。



## ○文化センター圏域（11 区分）

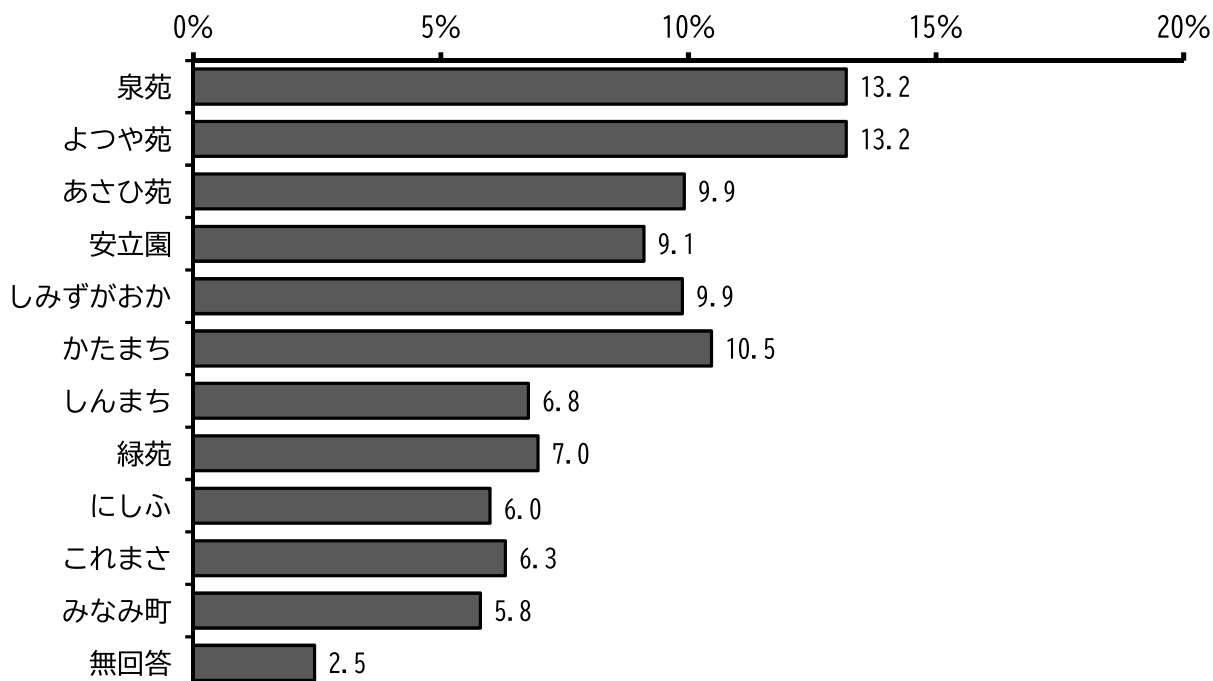
・文化センター圏域では、「中央文化センター」(13.6%)が最も多く、次いで「片町文化センター」(13.4%)、「住吉文化センター」(12.6%)、「新町文化センター」(10.6%)と続いている。



全体 (n=2,571)

## ○地域包括支援センター圏域（11 区分）

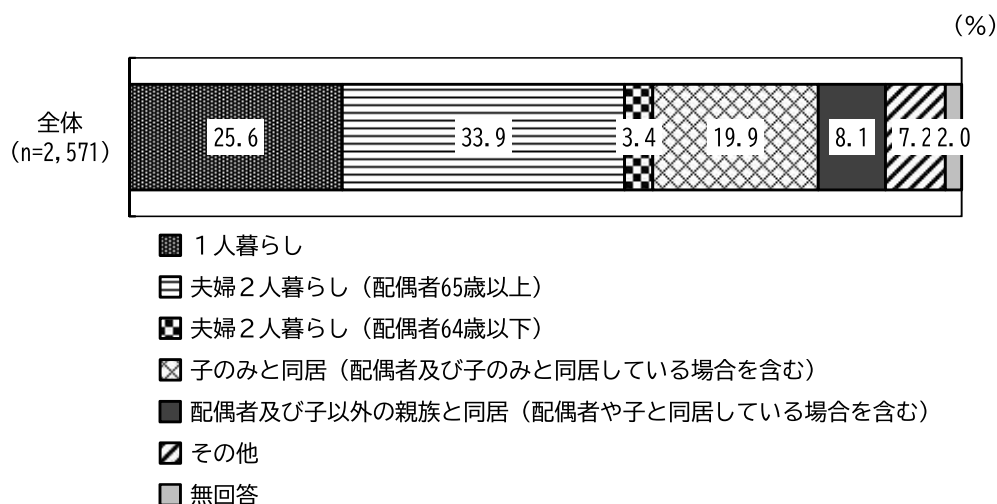
・地域包括支援センター圏域では、「泉苑」「よつや苑」(ともに 13.2%)が最も多く、次いで「かたまち」(10.5%)、「あさひ苑」「しみずがおか」(ともに 9.9%)、「安立園」(9.1%)と続いている。



全体 (n=2,571)

## 家族構成をお教えてください。(1つに○) (F4)

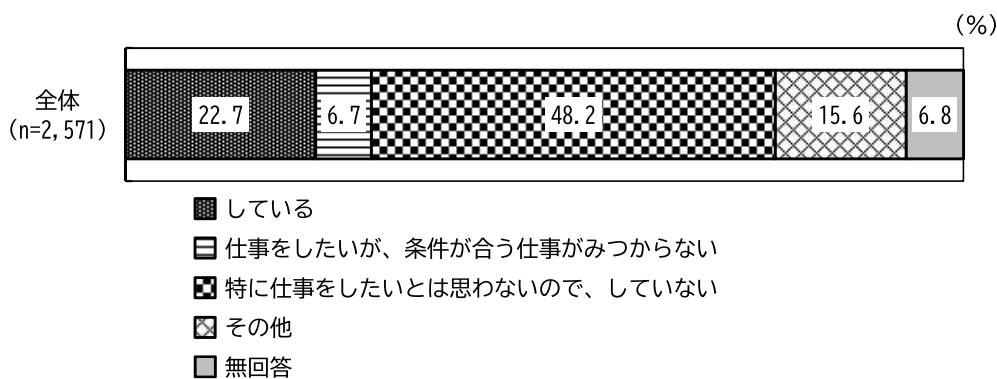
- ・「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(33.9%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(25.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(19.9%)と続いている。



## (2) 就労状況について

### 問1 現在収入のある仕事についていますか。(1つに○)

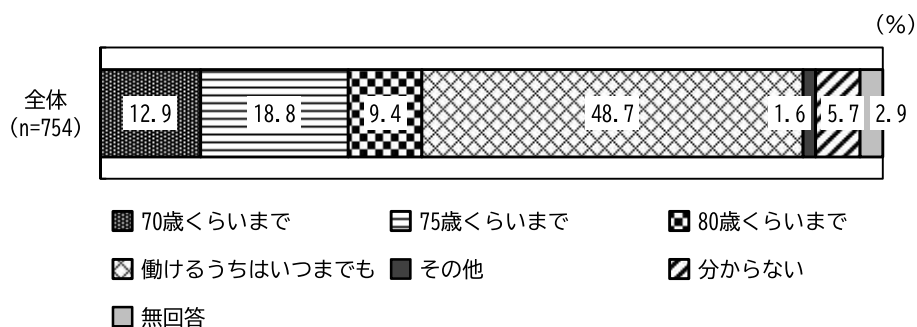
- ・「している」が22.7%、「仕事をしたいが、条件が合う仕事が見つからない」が6.7%で、合わせた割合は29.4%となっている。
- ・一方、「特に仕事をしたいとは思わないので、していない」が48.2%となっている。



«問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします»

### 問1-1 あなたは、何歳頃まで収入を伴う仕事をしたいですか。(1つに○)

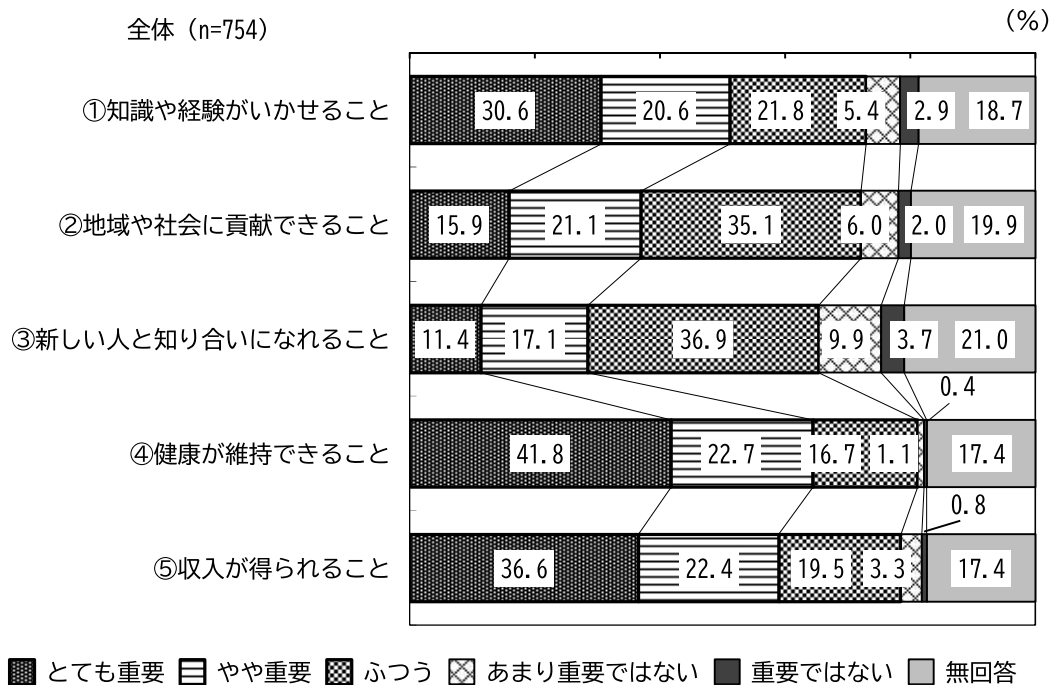
- ・「働けるうちはいつまでも」(48.7%)が最も多く、次いで「75歳くらいまで」(18.8%)、「70歳くらいまで」(12.9%)、「80歳くらいまで」(9.4%)と続いている。



《問1で「1」又は「2」とお答えの方におたずねします》

問1-2 働くうえで、次にあげたことをどの程度重視しますか。(それぞれ1つに○)

- ・「とても重要」と「やや重要」を合わせた割合は、『④健康が維持できること』(64.5%)が最も多く、次いで『⑤収入が得られること』(59.0%)、『①知識や経験がいかせること』(51.2%)となっている。
- ・一方、「あまり重要ではない」と「重要ではない」を合わせた割合は、『③新しい人と知り合いになれること』(13.6%)が最も多く、次いで『①知識や経験がいかせること』(8.3%)となっている。

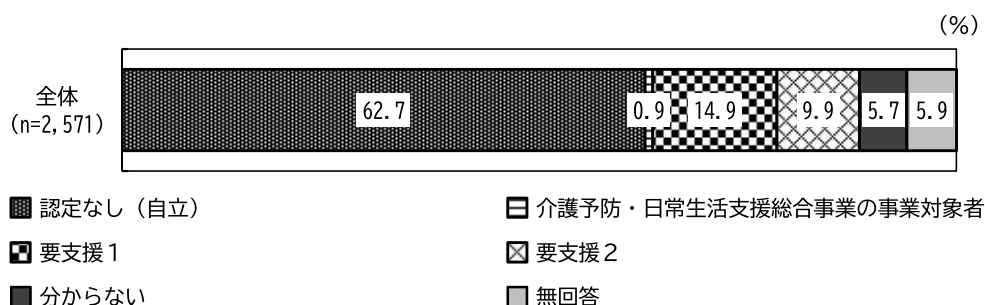


(3) 生活状況について

問2 あなたの介護保険における要支援認定の状況についてお答えください。

(令和元年10月1日現在) (1つに○)

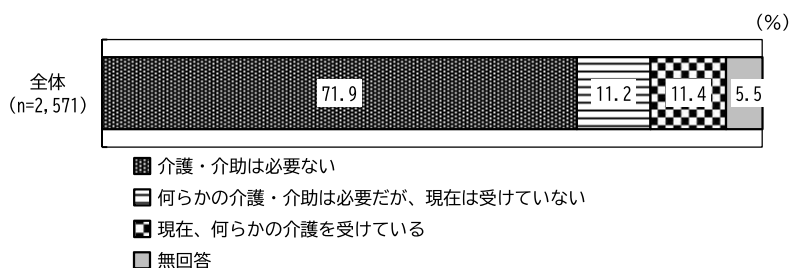
- ・「認定なし(自立)」(62.7%)が最も多く、次いで「要支援1」(14.9%)、「要支援2」(9.9%)、「介護予防・日常生活支援総合事業の事業対象者」(0.9%)となっている。





### 問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

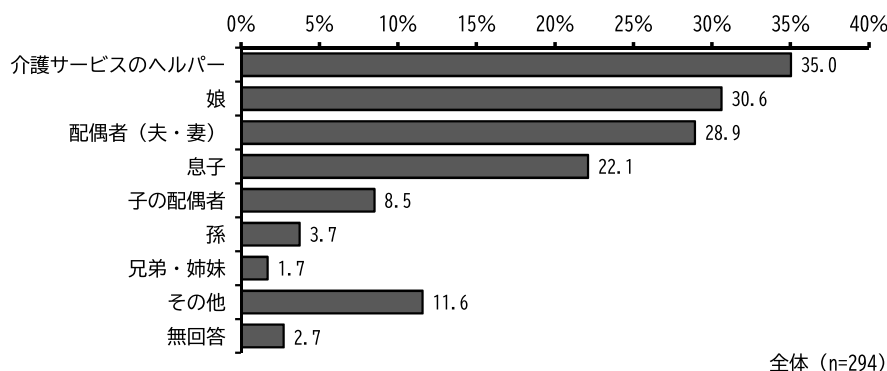
- ・「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が11.2%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が11.4%で、合わせた割合は22.6%となっている。
- ・一方、「介護・介助は必要ない」が71.9%となっている。



#### 《問3で「3」を選択した方におたずねします》

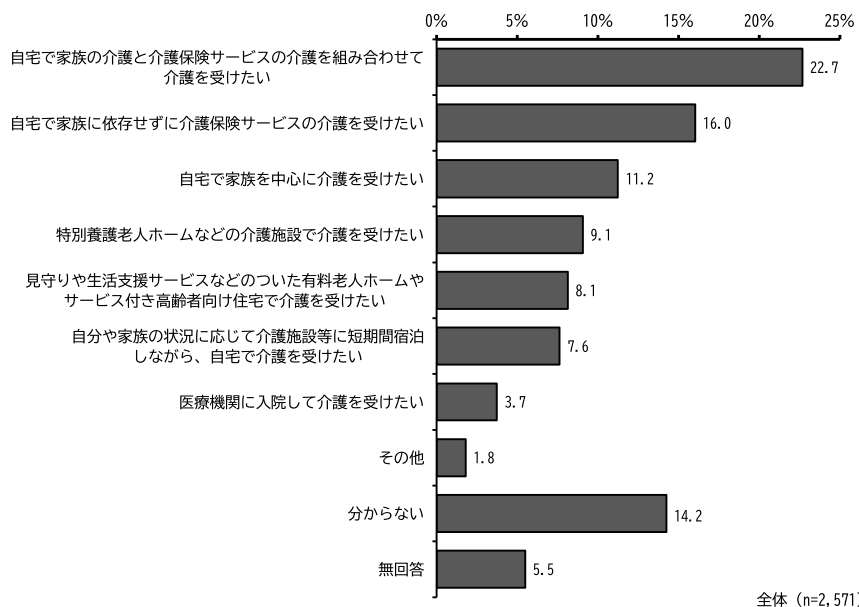
#### 問3-1 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(いくつでも○)

- ・「介護サービスのヘルパー」(35.0%)が最も多く、次いで「娘」(30.6%)、「配偶者(夫・妻)」(28.9%)、「息子」(22.1%)と続いている。



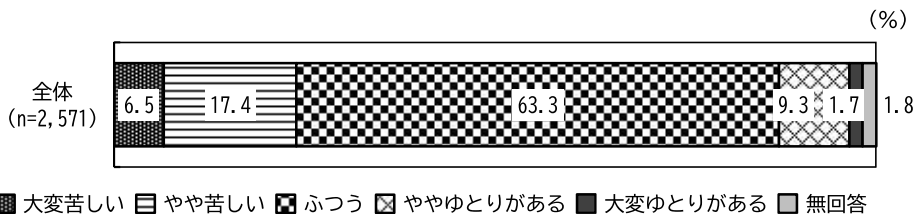
### 問4 今後、介護が必要になったら、どこで生活したいとお考えですか。(1つに○)

- ・「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」(22.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」(16.0%)、「自宅で家族を中心に介護を受けたい」(11.2%)と続いている。
- ・一方、「わからない」は14.2%となっている。



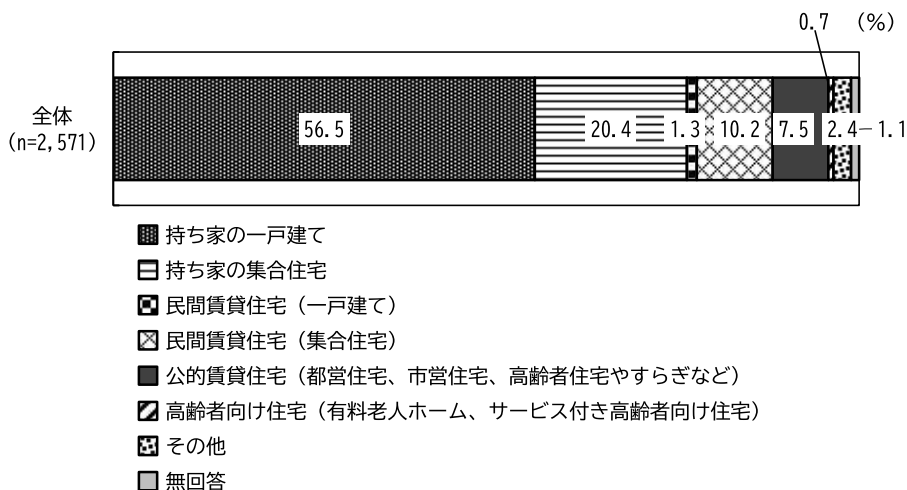
**問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)**

- ・「ふつう」の割合が最も多く 63.3%となっている。
- ・「大変苦しい」(6.5%)と「やや苦しい」(17.4%)を合わせた割合は 23.9%となっている。
- ・一方、「ややゆとりがある」(9.3%)と「大変ゆとりがある」(1.7%)を合わせた割合は 11.0%となっている。



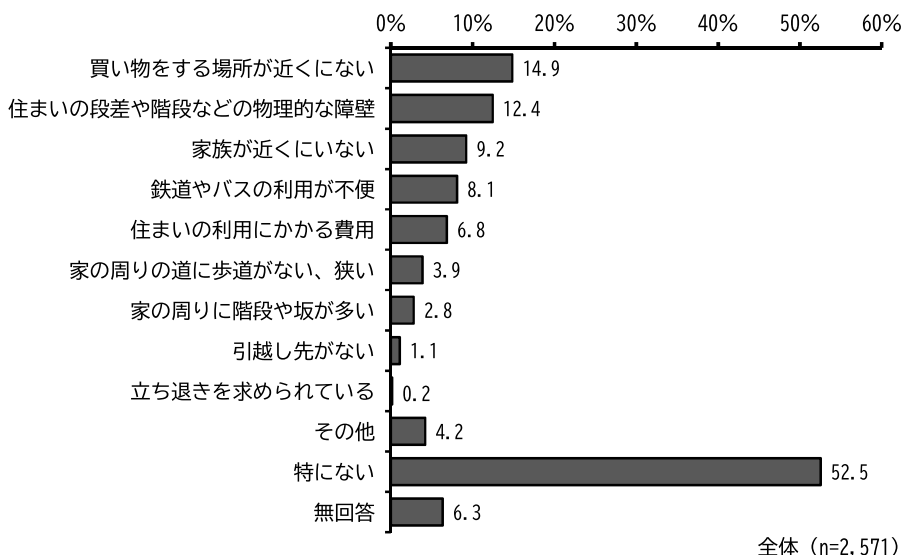
**問6 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)**

- ・「持ち家の一戸建て」(56.5%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(20.4%)、「民間賃貸住宅(集合住宅)」(10.2%)となっている。



**問7 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)**

- ・「買い物をする場所が近くにない」(14.9%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(12.4%)、「家族が近くにいない」(9.2%)、「鉄道やバスの利用が不便」(8.1%)、「住まいの利用にかかる費用(家賃など)」(6.8%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は 52.5%となっている。

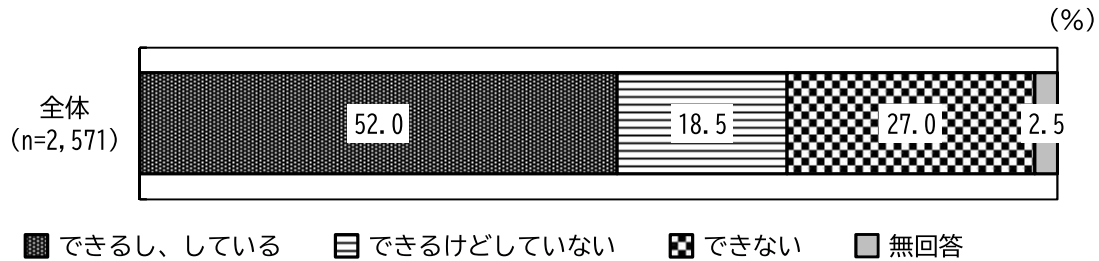


全体 (n=2,571)

## (4) からだを動かすことについて

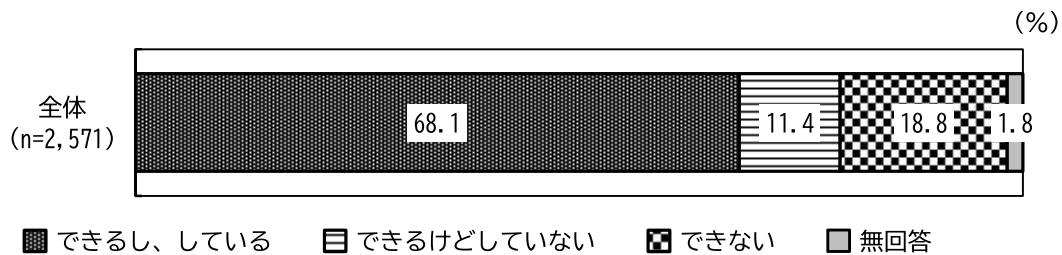
### 問 8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が52.0%、「できるけどしていない」が18.5%で、合わせた割合は70.5%、一方、「できない」が27.0%となっている。



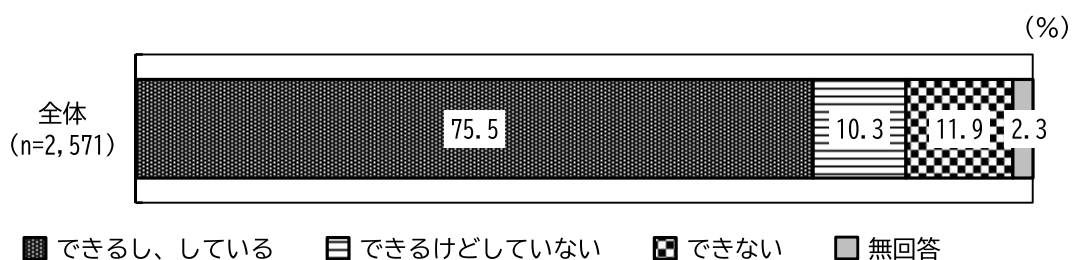
### 問 9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が68.1%、「できるけどしていない」が11.4%で、合わせた割合は79.5%、一方、「できない」が18.8%となっている。



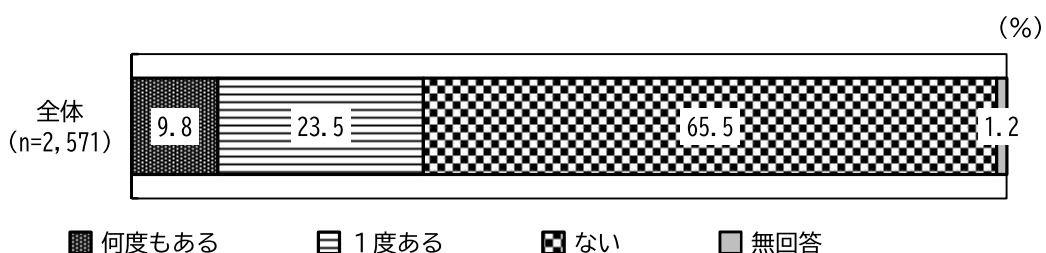
### 問 10 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

- ・「できるし、している」が75.5%、「できるけどしていない」が10.3%で、合わせた割合は85.8%、一方、「できない」が11.9%となっている。



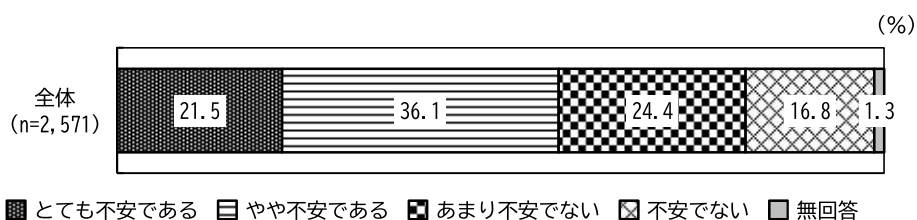
### 問 11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- ・「何度もある」が9.8%、「1度ある」が23.5%で、合わせた割合は33.3%、一方、「ない」が65.5%となっている。



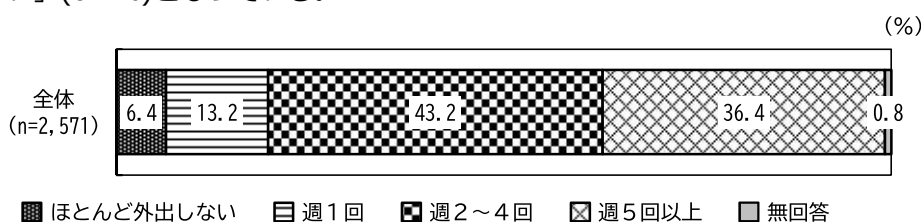
## 問 12 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- ・「とても不安である」(21.5%)と「やや不安である」(36.1%)を合わせた割合は57.6%となっている。
- ・一方、「あまり不安でない」(24.4%)と「不安でない」(16.8%)を合わせた割合は41.2%となっている。



## 問 13 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- ・「週2～4回」(43.2%)が最も多く、次いで「週5回以上」(36.4%)、「週1回」(13.2%)、「ほとんど外出しない」(6.4%)となっている。



## 問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

- ・「とても減っている」(5.9%)と「減っている」(26.1%)を合わせた割合は32.0%となっている。
- ・一方、「あまり減っていない」(29.6%)と「減っていない」(37.2%)を合わせた割合は66.8%となっている。



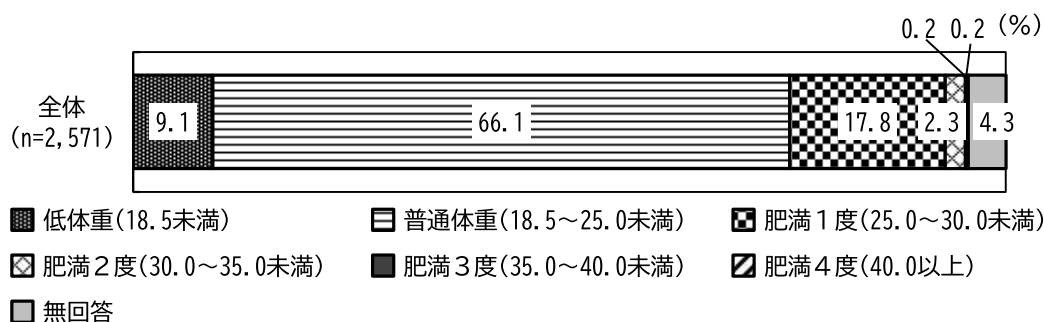
## (5) 食べることについて

### 問 15 身長・体重をお教えてください。(BMI※)

- ・「普通体重(18.5～25.0未満)」(66.1%)で、肥満の「1度」～「4度」を合わせた「肥満(25.0以上)」の割合は20.5%、一方、「低体重(18.5未満)」は9.1%となっている。

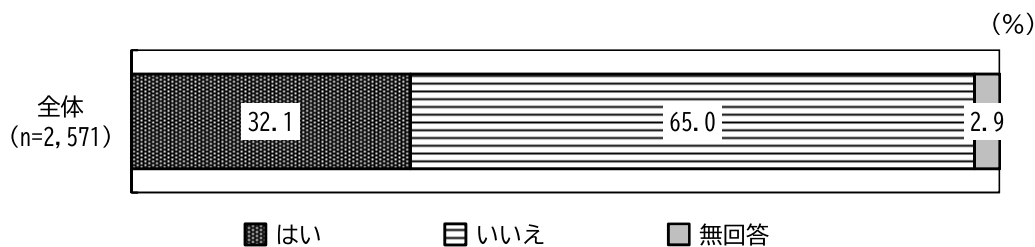
※BMI (Body mass index)

[体重(kg)]÷[身長(m)の2乗]で算出される値。肥満や低体重(やせ)の判定に用いる。



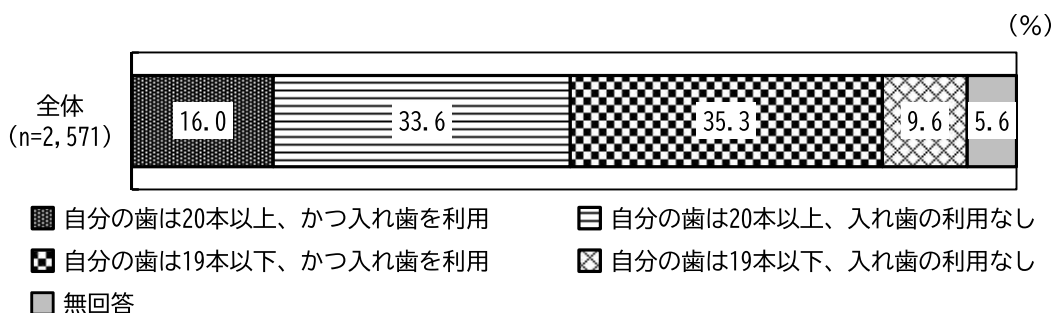
**問 16 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)**

- ・「はい」が32.1%、「いいえ」が65.0%となっている。



**問 17 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です。)(1つに○)**

- ・「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(35.3%)が最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(33.6%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(16.0%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(9.6%)となっている。
- ・「入れ歯を利用している」割合は51.3%、「自分の歯が19本以下」の割合は44.9%となっている。



**《問 17 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ》**

**問 17-1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。(1つに○)**

- ・「はい」が87.4%、「いいえ」が6.9%となっている。



**問 18 どなたかと食事をともにする機会はありますか。(1つに○)**

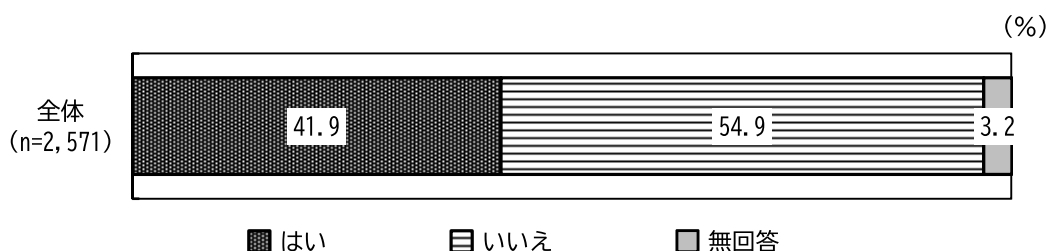
- ・「毎日ある」(52.7%)と「週に何度かある」(10.3%)を合わせた割合は63.0%、一方、「ほとんどない」(7.4%)と「年に何度かある」(11.0%)と「月に何度かある」(13.6%)を合わせた割合は32.0%となっている。



## (6) 毎日の生活について

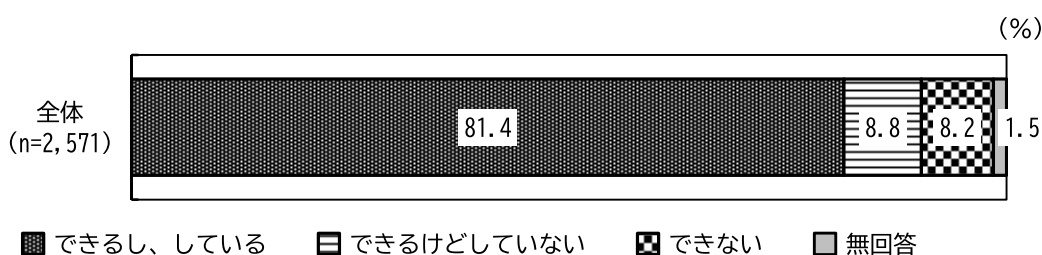
### 問 19 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

・「はい」が41.9%、「いいえ」が54.9%となっている。



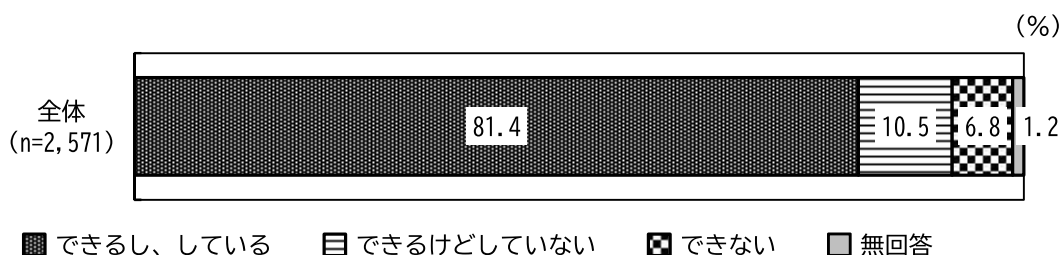
### 問 20 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つに○)

・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が8.8%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.2%となっている。



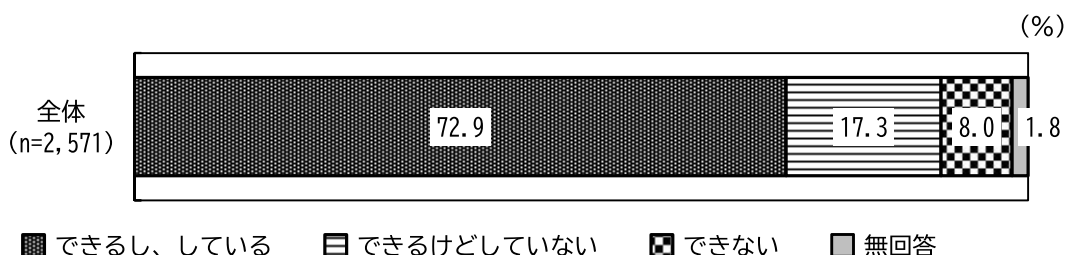
### 問 21 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)

・「できるし、している」が81.4%、「できるけどしていない」が10.5%で、合わせた割合は91.9%、一方、「できない」が6.8%となっている。



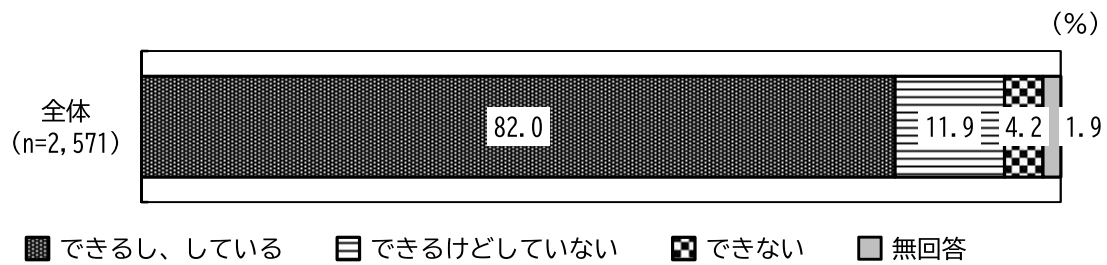
### 問 22 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

・「できるし、している」が72.9%、「できるけどしていない」が17.3%で、合わせた割合は90.2%、一方、「できない」が8.0%となっている。



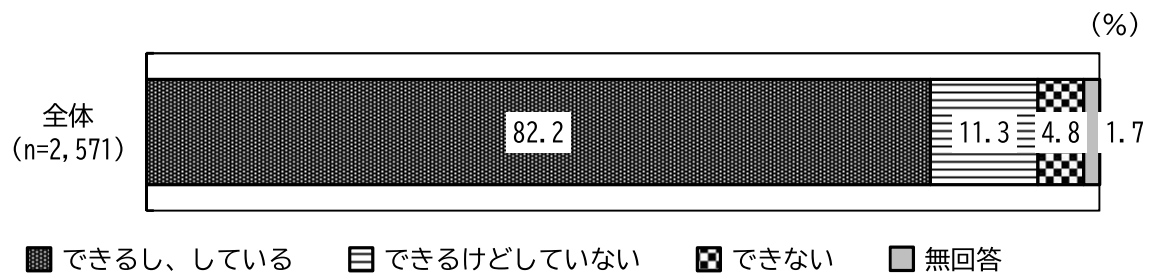
**問 23 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)**

- ・「できるし、している」が82.0%、「できるけどしていない」が11.9%で、合わせた割合は93.9%、一方、「できない」が4.2%となっている。



**問 24 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)**

- ・「できるし、している」が82.2%、「できるけどしていない」が11.3%で、合わせた割合は93.5%、一方、「できない」が4.8%となっている。

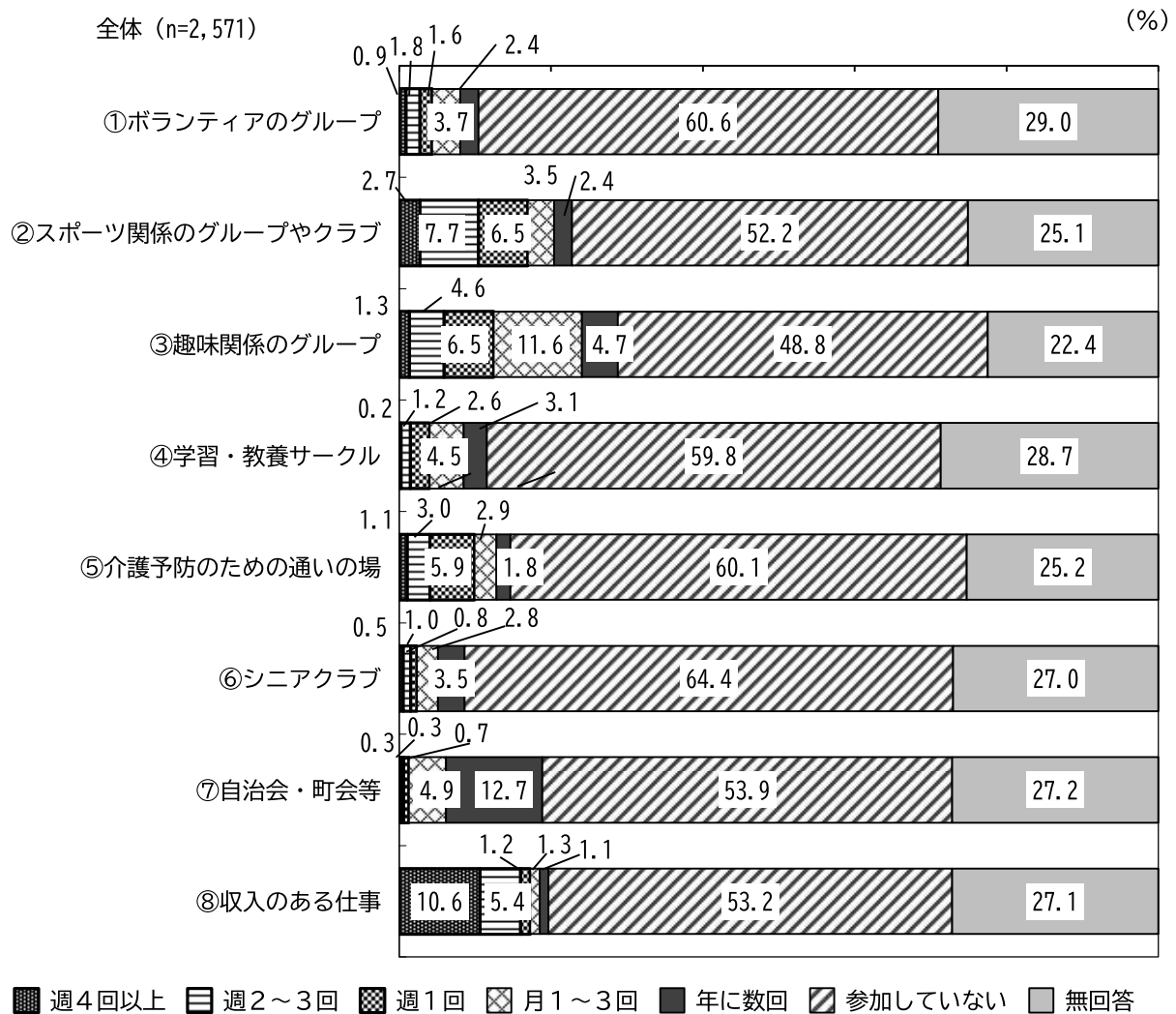


## (7) 地域生活と日ごろの活動について

問 25 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(① ~⑧それぞれ1つに○)

- ・「参加している(年に数回~週4回以上)」割合は、『③趣味関係のグループ』(28.7%)が最も高く、次いで、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(22.8%)、『⑧収入のある仕事』(19.6%)、『⑦自治会・町会等』(18.9%)、『⑤介護予防のための通いの場』(14.7%)、『④学習・教養サークル』(11.6%)、『①ボランティアのグループ』(10.4%)、『⑥シニアクラブ』(8.6%)となっている。
- ・「週1回以上(「1~4回以上)」の割合は、『⑧収入のある仕事』(17.2%)が最も高く、次いで、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(16.9%)、『③趣味関係のグループ』(12.4%)、『⑤介護予防のための通いの場』(10.0%)、『①ボランティアのグループ』(4.3%)、『④学習・教養サークル』(4.0%)、『⑥シニアクラブ』(2.3%)、『⑦自治会・町会等』(1.3%)となっている。
- ・一方、「参加していない」割合は、『⑥シニアクラブ』(64.4%)が最も多く、次いで『①ボランティアのグループ』(60.6%)、『⑤介護予防のための通いの場』(60.1%)となっている。





**問 26 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。**

(1つに○)

- ・「是非参加したい」が8.5%、「参加してもよい」が46.7%、「既に参加している」が6.2%で、これらを合わせた参加意向のある割合は61.4%、一方、「参加したくない」が34.1%となっている。

(%)



**問 27 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。**

(1つに○)

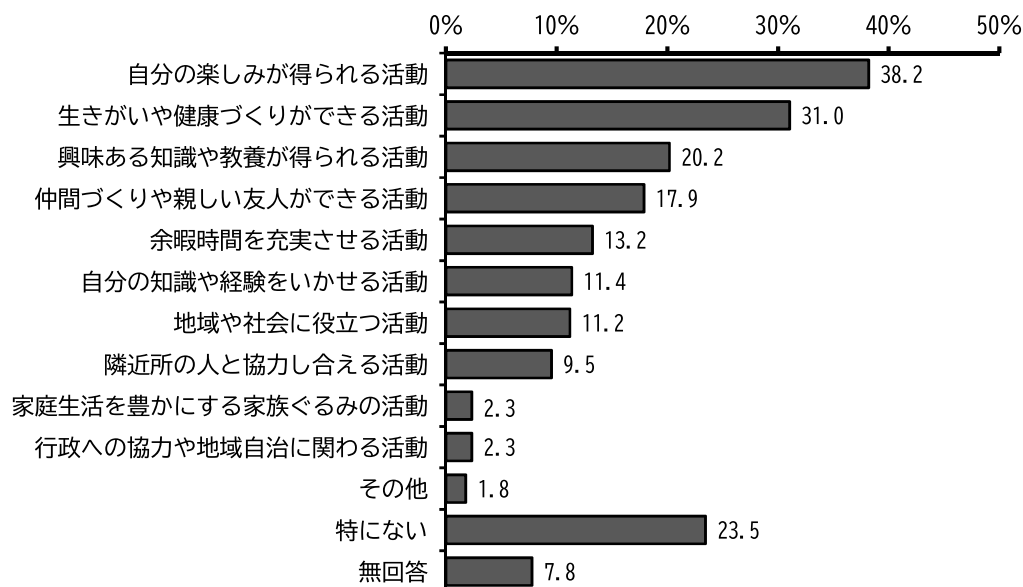
- ・「是非参加したい」が2.4%、「参加してもよい」が29.9%、「既に参加している」が3.5%で、これらを合わせた参加意向のある割合は35.8%、一方、「参加したくない」が57.4%となっている。

(%)



**問 28 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。（3つまでに○）**

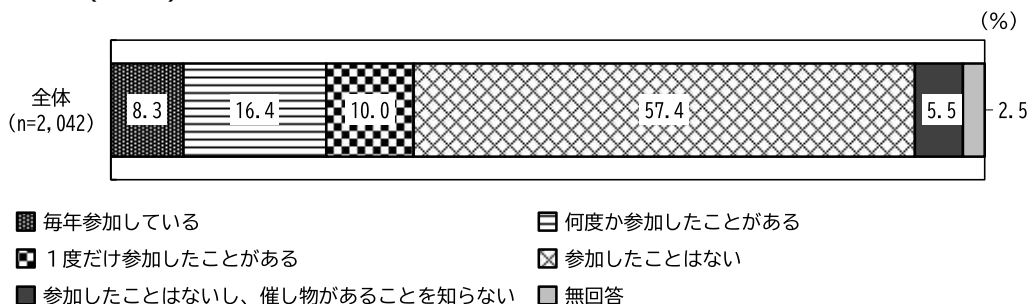
- ・「自分の楽しみが得られる活動」(38.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(31.0%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(20.2%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(17.9%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は23.5%となっている。



全体 (n=2,571)

**問 29 市では各種生きがいづくり事業を行っています。あなたは、「敬老の日記念大会」に参加したことはありますか。70 歳以上の方のみお答えください。（1つに○）**

- ・「参加したことはない」(57.4%)が最も多く、「参加したことはないし、催し物があることを知らない」(5.5%)を合わせた割合は、62.9%となっている。
- ・一方、「何度か参加したことがある」(16.4%)、「1度だけ参加したことがある」(10.0%)、「毎年参加している」(8.3%)を合わせた割合は34.7%となっている。



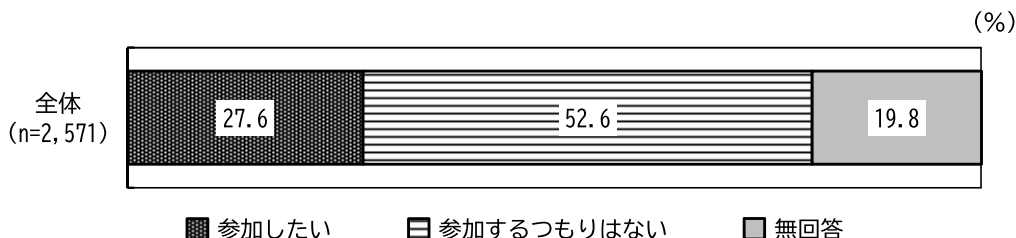
《問 29 で「1」～「4」とお答えの方におたずねします》

**問 29-1 その理由を具体的にお書きください。**

※集計中

**問 30 あなたは、「敬老の日記念大会」に今後も参加したいと思いますか。70 歳未満の方は、70 歳を迎えた場合を想定してお答えください。（1つに○）**

- ・「参加したい」が27.6%、「参加するつもりはない」が52.6%となっている。



《問 30 で「1」、「2」とお答えの方におたずねします》

**問 30-1 その理由を具体的にお書きください。**

※集計中

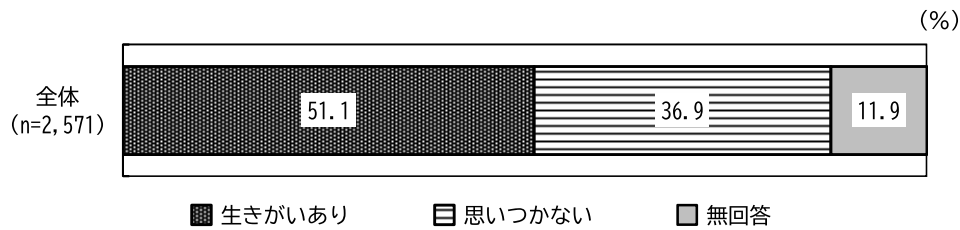
**問 31 「高齢者保養施設利用助成」を利用したことがありますか。（1つに○）**

- ・「利用したことがある」が5.6%、「知っているが利用したことはない」が31.3%で、合わせた割合は36.9%、一方、「知らないし、利用したことがない」が58.8%となっている。



**問 32 生きがいがありますか。(1つに○)**

・「生きがいあり」が51.1%、「思いつかない」が36.9%となっている。

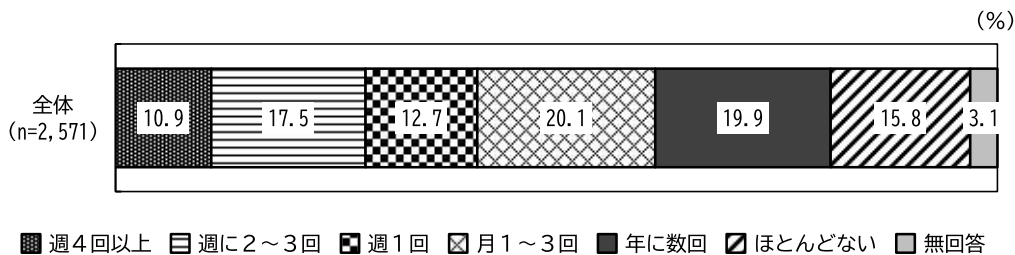


**問 33 「生きがいづくり」に関して、市はどのような支援をすべきだと思いますか。具体的にお書きください。**

※集計中

**問 34 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つに○)**

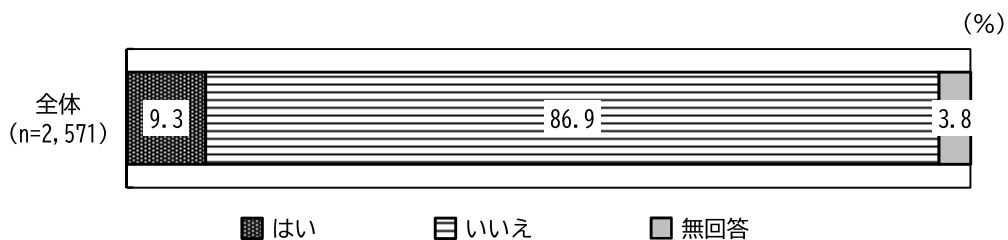
・「月1～3回」(20.1%)が最も多く、次いで「年に数回」(19.9%)、「週に2～3回」(17.5%)、「ほとんどない」(15.8%)、「週1回」(12.7%)と続いている。



**(8) 認知症について**

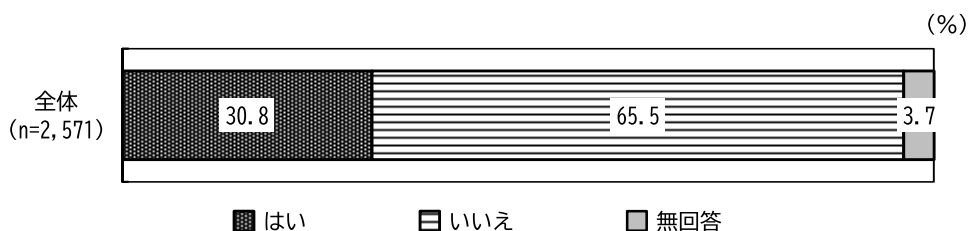
**問 35 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)**

・「はい」が9.3%、「いいえ」が86.9%となっている。



**問 36 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)**

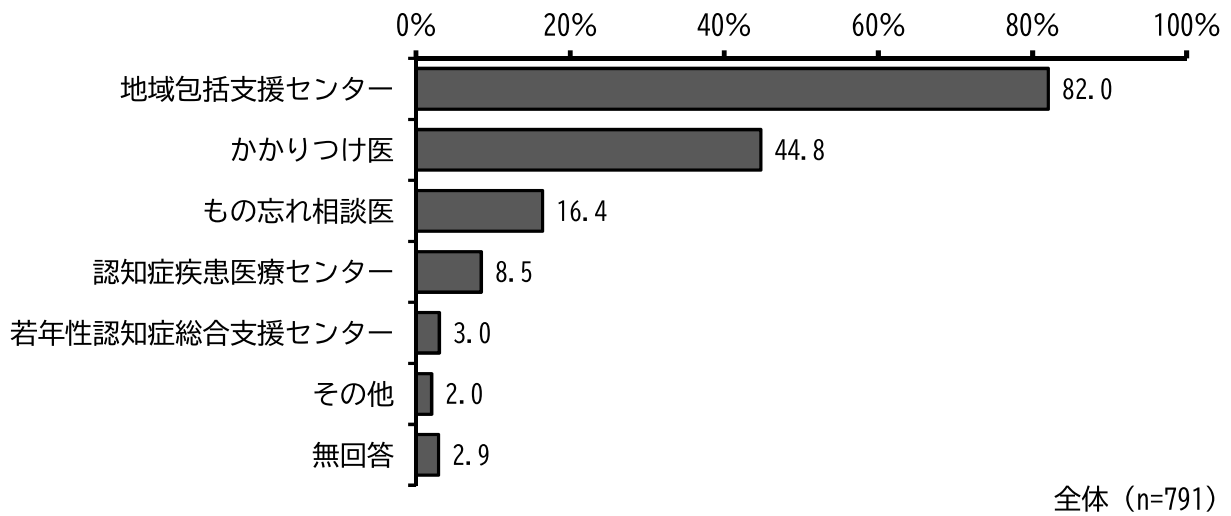
・「はい」が30.8%、「いいえ」が65.5%となっている。



「問 36 で「1」を選択した方におたずねします」

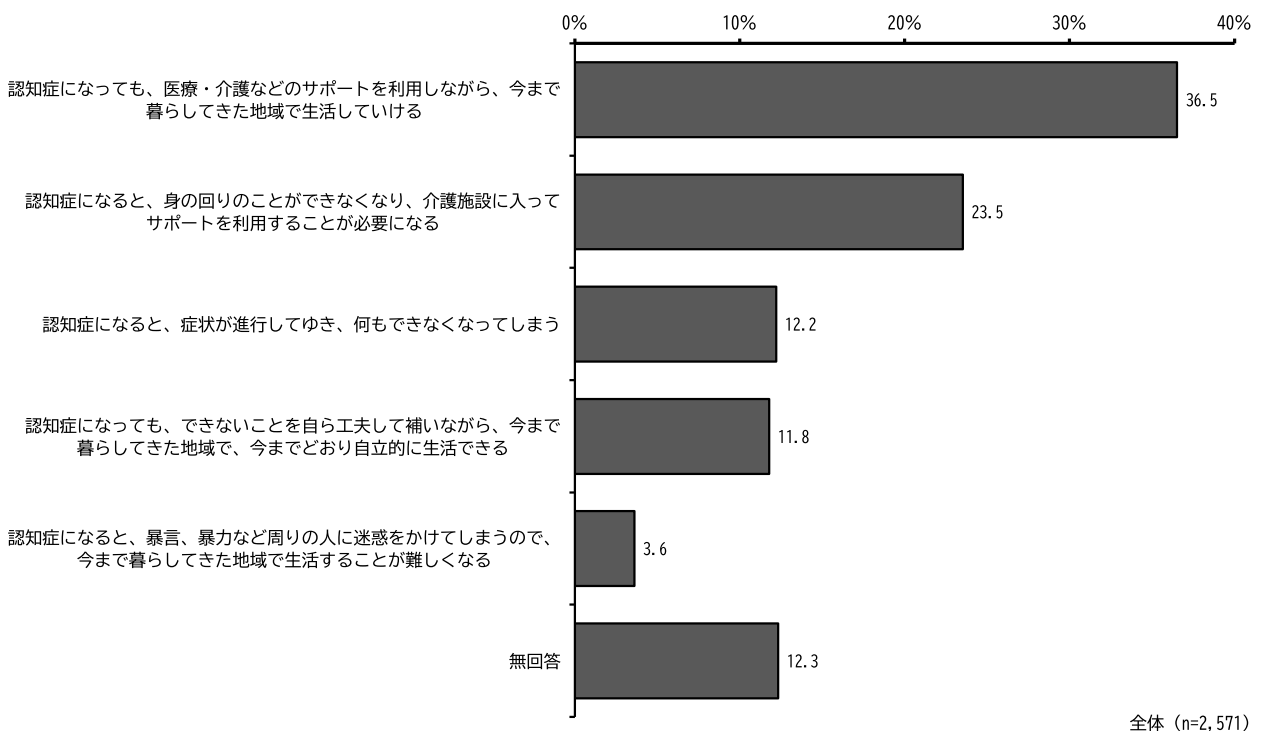
問 36 - 1 あなたが知っている相談窓口はどれですか。(いくつでも○)

- ・「地域包括支援センター」(82.0%)が最も多く、次いで「かかりつけ医」(44.8%)、「もの忘れ相談医」(16.4%)、「認知症疾患医療センター」(8.5%)と続いている。



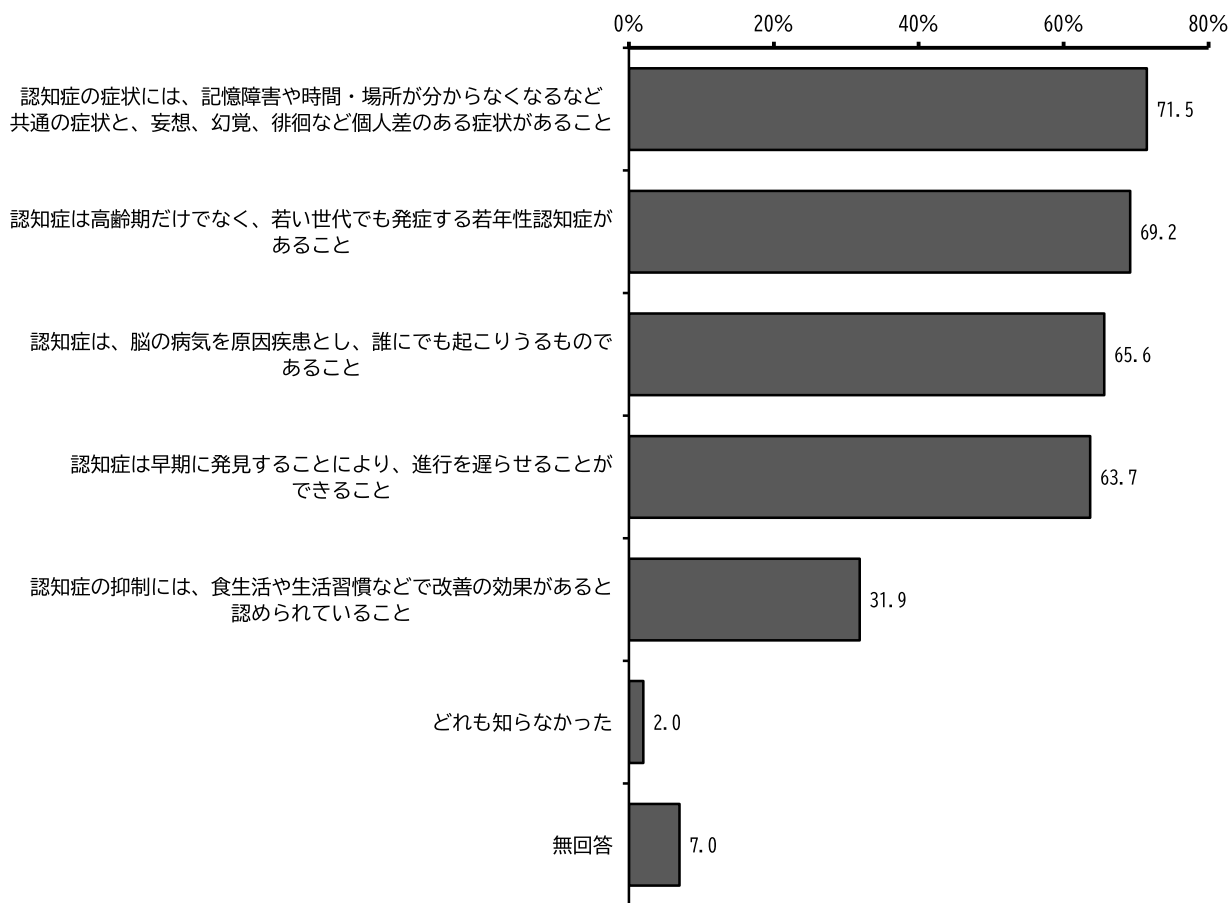
問 37 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いと思うものをお答えください。(1つに○)

- ・「認知症になっても、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」(36.5%)が最も多く、次いで「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要になる」(23.5%)、「認知症になると、症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」(12.2%)、「認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活できる」(11.8%)と続いている。



### 問 38 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)

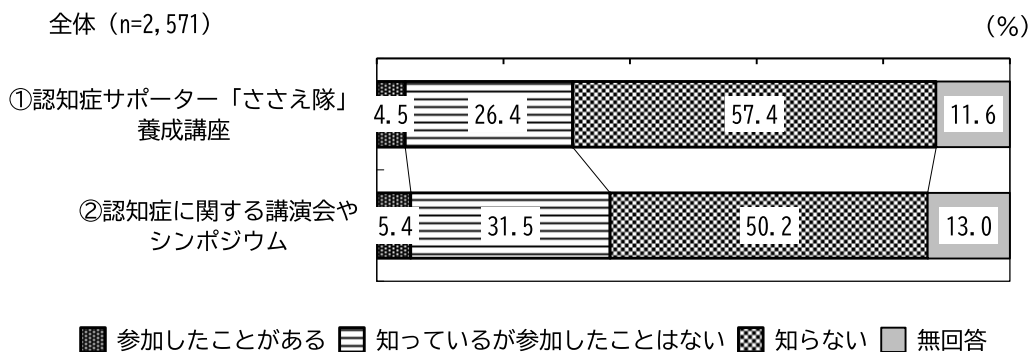
- ・「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(71.5%)が最も多く、次いで「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(69.2%)、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(65.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(63.7%)と続いている。
- ・一方、「どれも知らなかった」は2.0%となっている。



全体 (n=2,571)

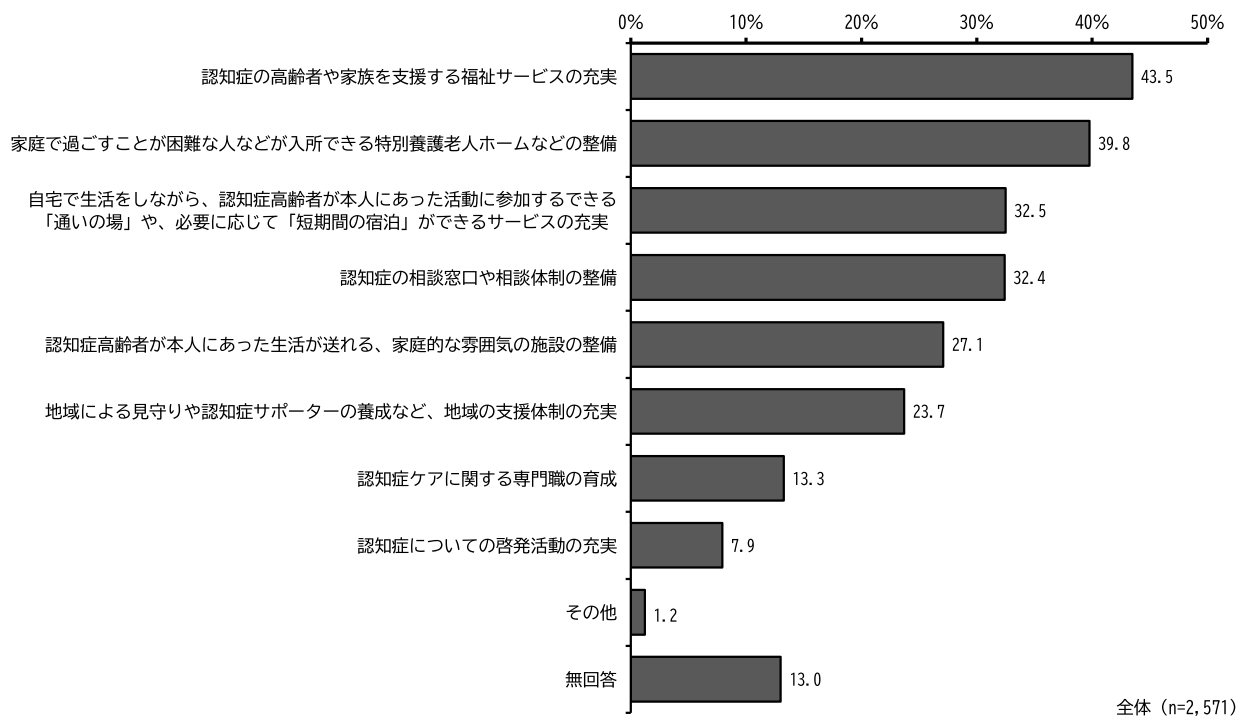
問 39 府中市では、次のような認知症予防の啓発活動を実施しています。あなたの参加状況について①・②のそれぞれ1つに○をつけてください。

- ・『①認知症サポーター「ささえ隊」養成講座』は、「参加したことがある」が4.5%、「知っているが参加したことはない」が26.4%、「知らない」が57.4%となっている。
- ・『②認知症に関する講演会やシンポジウム』は、「参加したことがある」が5.4%、「知っているが参加したことはない」が31.5%、「知らない」が50.2%となっている。



問 40 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が重要だと考えますか。(3つまでに○)

- ・「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(43.5%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.8%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる『通いの場』や、必要に応じて『短期間の宿泊』ができるサービスの充実」(32.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(32.4%)と続いている。

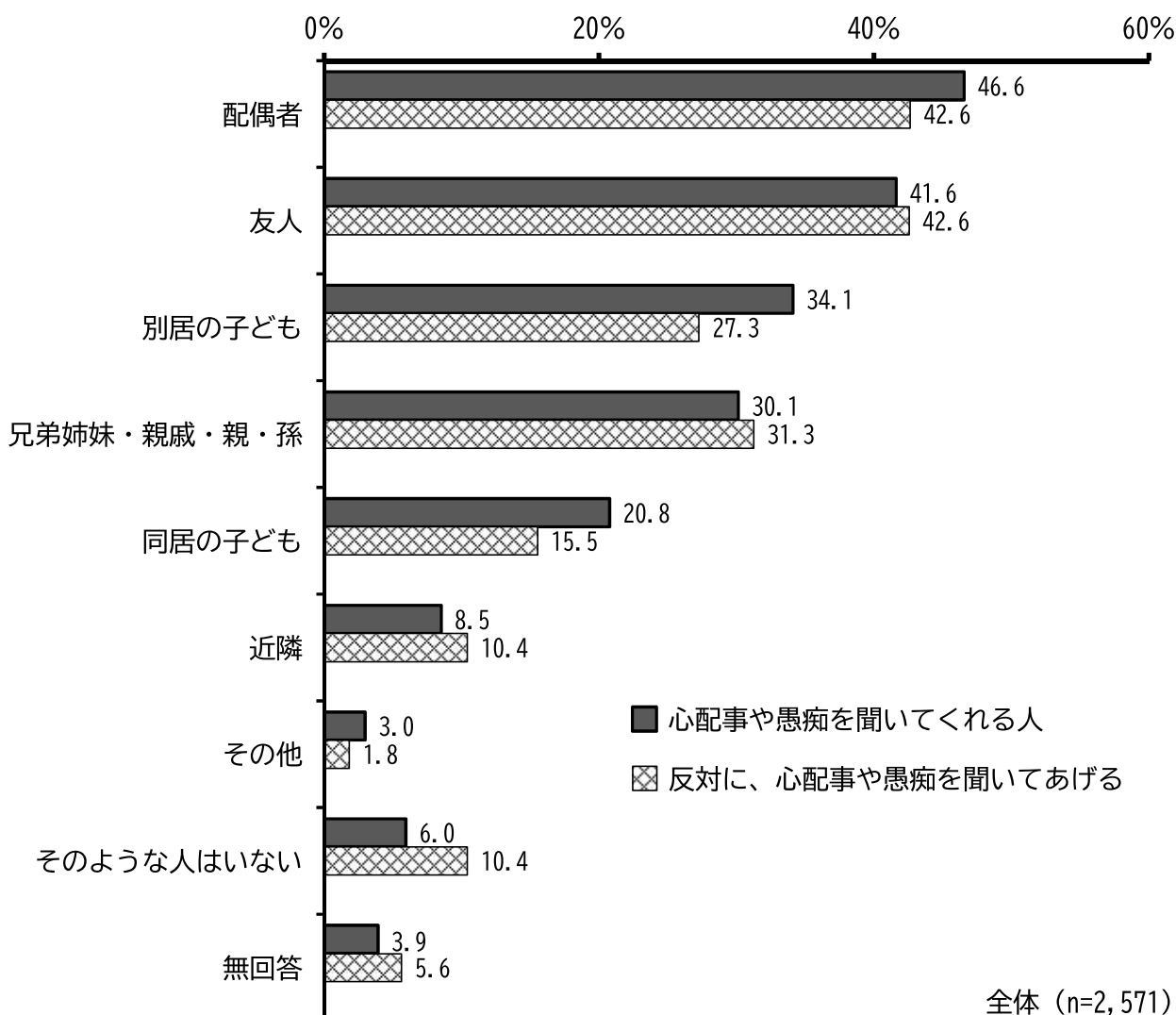


## (9) たすけあいについて

問 41 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（いくつでも○）

問 42 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。（いくつでも○）

- ・『心配事や愚痴を聞いてくれる人』は、「配偶者」(46.6%)が最も多く、次いで「友人」(41.6%)、「別居の子ども」(34.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.1%)、「同居の子ども」(20.8%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は6.0%となっている。なお、「別居の子ども」(34.1%)と「同居の子ども」(20.8%)を合わせた割合は54.9%となっている。
- ・反対に『心配事や愚痴を聞いてあげる人』は、「配偶者」「友人」(ともに42.6%)が最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(31.3%)、「別居の子ども」(27.3%)、「同居の子ども」(15.5%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は10.4%となっている。なお、「別居の子ども」(27.3%)と「同居の子ども」(15.5%)を合わせた割合は42.8%となっている。

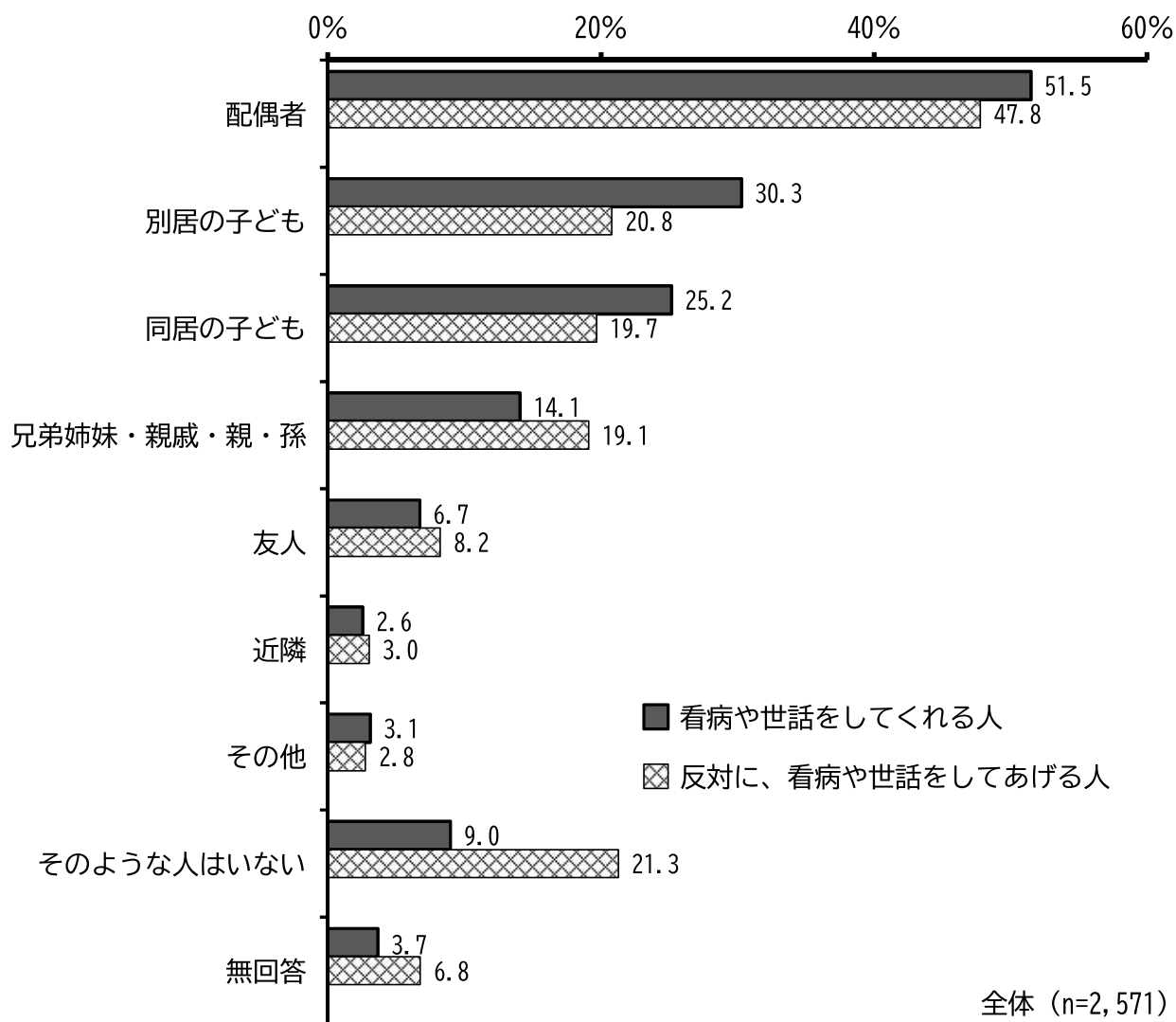


問 43 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。

問 44 反対に、看病や世話をしあげる人はいますか。

(いくつでも○)

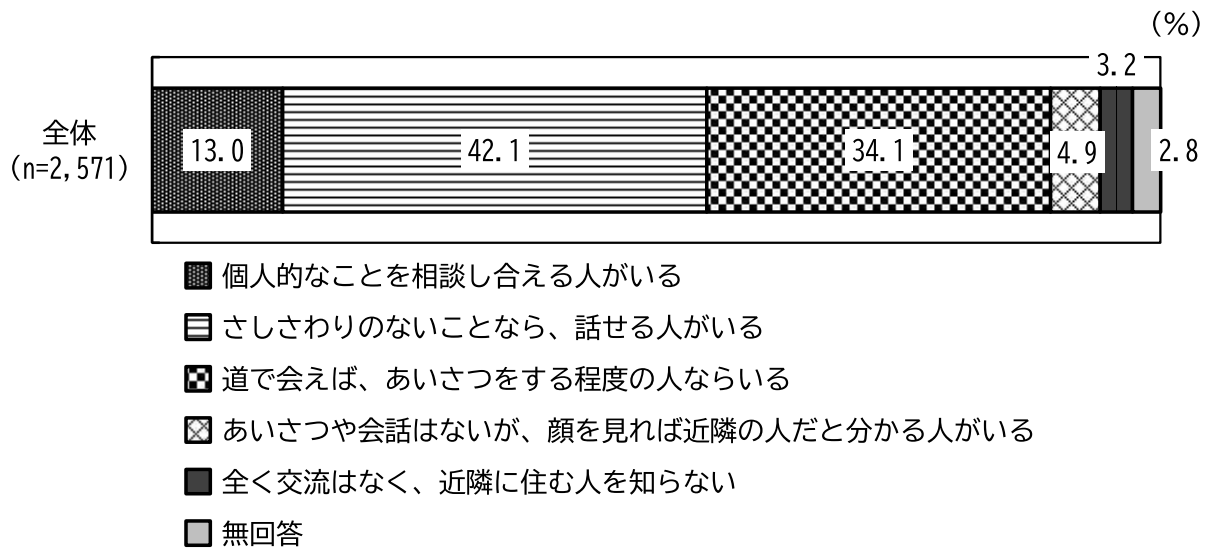
- ・『看病や世話をしてくれる人』は、「配偶者」(51.5%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(30.3%)、「同居の子ども」(25.2%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(14.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は9.0%となっている。なお、「別居の子ども」(30.3%)と「同居の子ども」(25.2%)を合わせた割合は55.5%となっている。
- ・反対に『看病や世話をしあげる人』は、「配偶者」(47.8%)が最も多く、次いで「別居の子ども」(20.8%)、「同居の子ども」(19.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.1%)と続いている。一方、「そのような人はいない」は21.3%となっている。なお、「別居の子ども」(20.8%)と「同居の子ども」(19.7%)を合わせた割合は40.5%となっている。





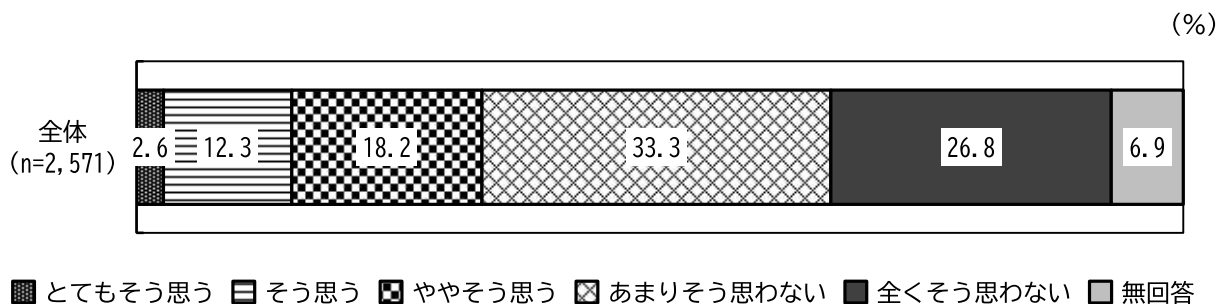
問 45 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

- ・「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(42.1%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(34.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(13.0%)と続いている。



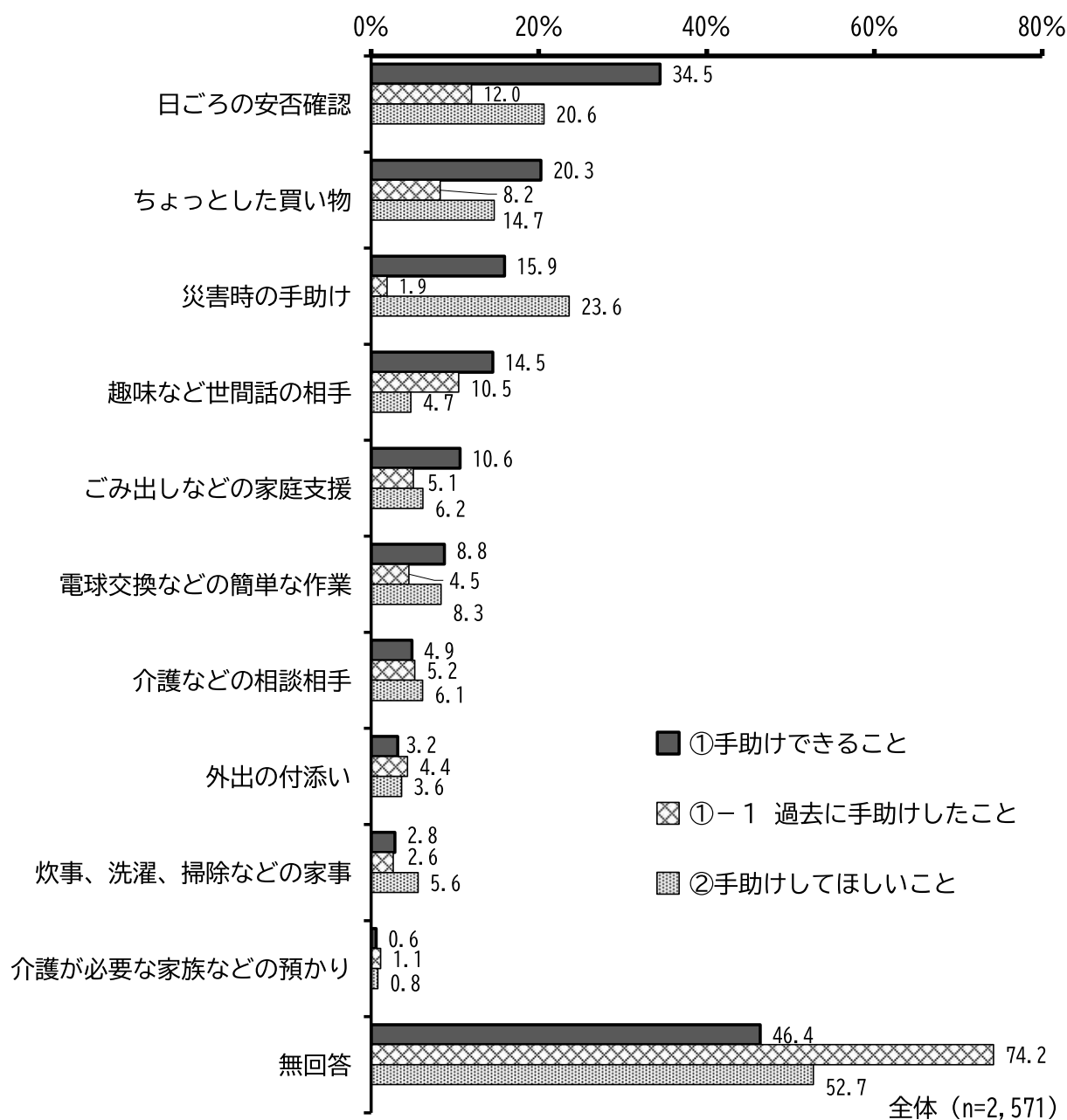
問 46 あなたは、お住まいの地域の人から何らかの役割を期待されたり、頼りにされたりしていると思いますか。(自分なりにできること、会・グループでの役、隣近所のちょっとしたこと、お手伝いやお願いごとなど) (1つに○)

- ・「とてもそう思う」(2.6%)、「そう思う」(12.3%)、「ややそう思う」(18.2%)を合わせた割合は 33.1% となっている。
- ・一方、「あまりそう思わない」(33.3%)、「全くそう思わない」(26.8%)を合わせた割合は 60.1% となっている。



問 47 隣近所で困っている世帯があった場合、あなたができることは何ですか。また、あなたが高齢や病気などで日常生活が不自由になったときに隣近所の人に手助けしてもらおうとしたらどんなことをしてほしいですか。(1)～(10)の項目のうち、①、②については3つまでに、①-1についてはあてはまるものに○をつけてください。

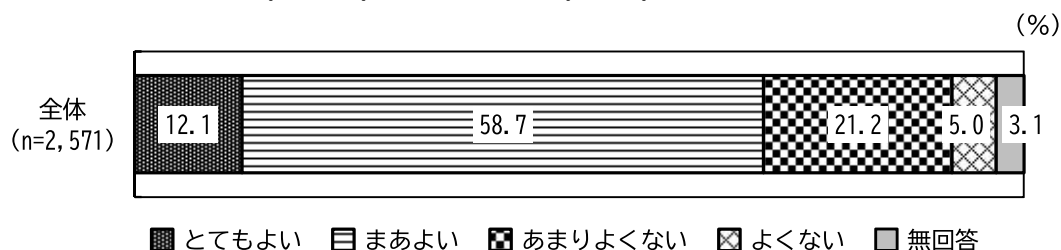
- ・『手助けできること』は、「日ごろの安否確認」(34.5%)が最も多く、次いで「ちょっとした買い物」(20.3%)、「災害時の手助け」(15.9%)、「趣味など世間話の相手」(14.5%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(10.6%)と続いている。
- ・『過去に手助けしたこと』は、「日ごろの安否確認」(12.0%)が最も多く、次いで「趣味など世間話の相手」(10.5%)、「ちょっとした買い物」(8.2%)と続いている。
- ・『手助けしてほしいこと』では、「災害時の手助け」(23.6%)が最も多く、次いで「日ごろの安否確認」(20.6%)、「ちょっとした買い物」(14.7%)と続いている。



## (10) 健康づくりや介護予防などについて

### 問 48 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

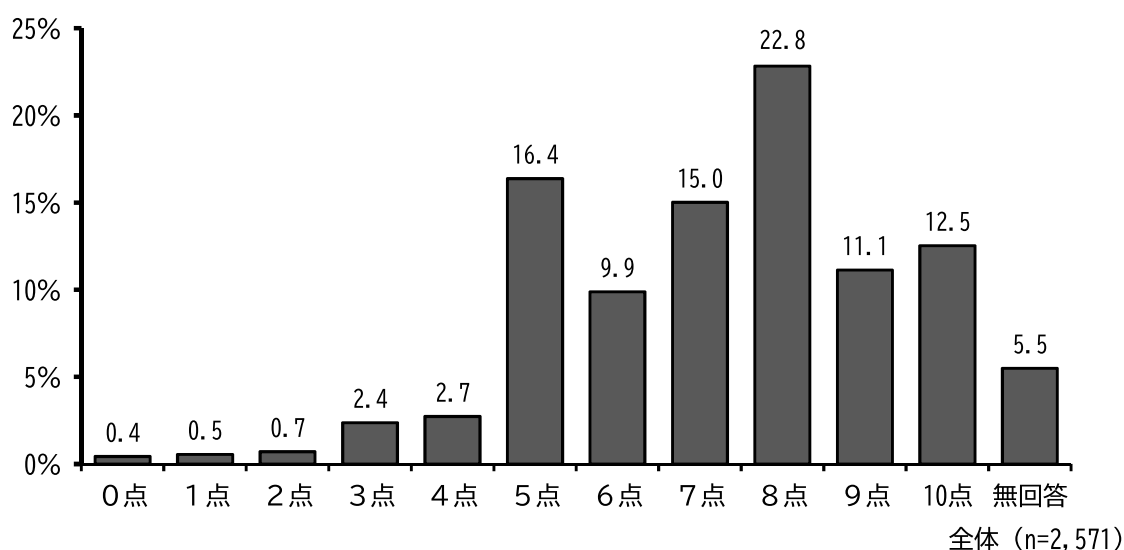
- ・「とてもよい」(12.1%)と「まあよい」(58.7%)を合わせた割合は70.8%となっている。
- ・一方、「あまりよくない」(21.2%)と「よくない」(5.0%)を合わせた割合は26.2%となっている。



### 問 49 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれぐらいになるとお思いますか。最も近いものをお選びください。

(1つに○)

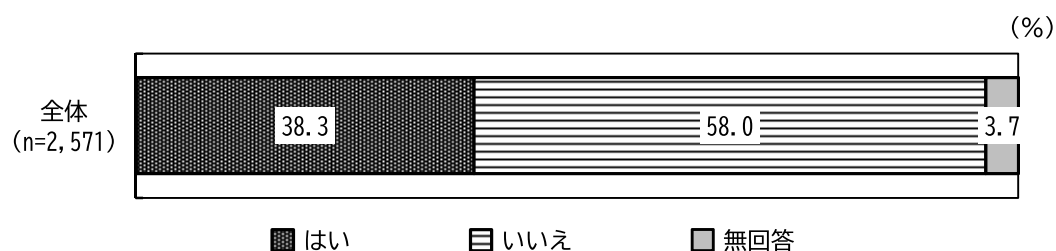
- ・「8点」(22.8%)が最も多く、次いで「5点」(16.4%)、「7点」(15.0%)、「10点」(12.5%)、「9点」(11.1%)と続いている。
- ・「8点以上」の割合は46.4%、一方、「2点以下」の割合は1.6%となっている。
- ・平均点は7.13点である。



### 問 50 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

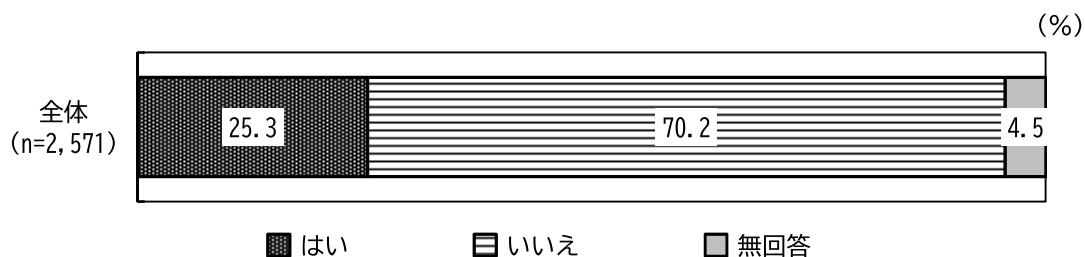
(1つに○)

- ・「はい」が38.3%、「いいえ」が58.0%となっている。



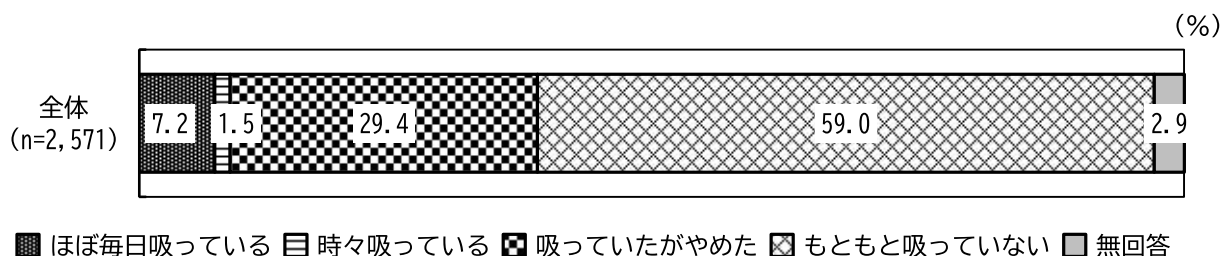
問 51 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

- ・「はい」が25.3%、「いいえ」が70.2%となっている。



問 52 タバコは吸っていますか。(1つに○)

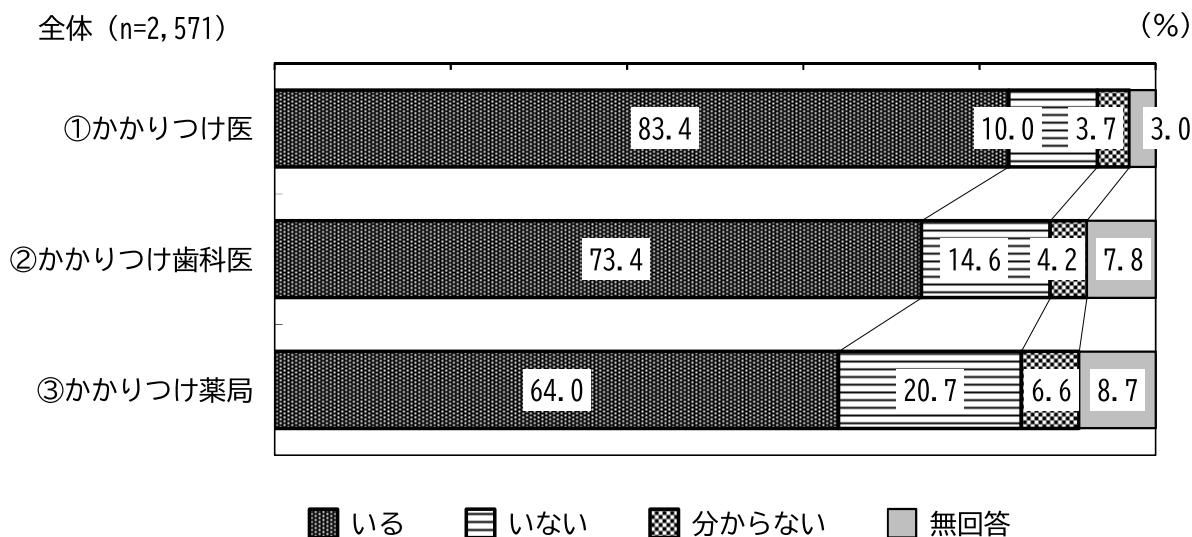
- ・「もともと吸っていない」(59.0%)が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(29.4%)となっている。
- ・「ほぼ毎日吸っている」(7.2%)と「時々吸っている」(1.5%)を合わせた割合は8.7%となっている。



問 53 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

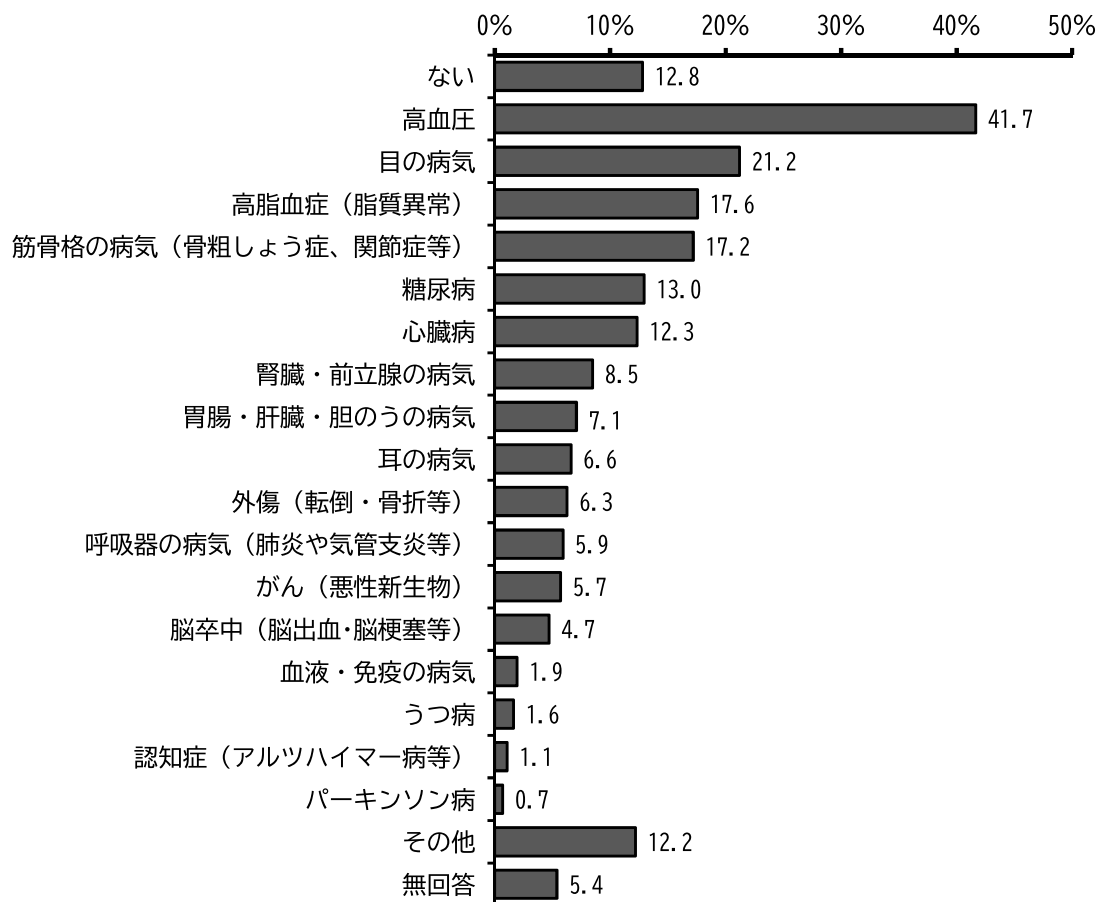
(それぞれ1つに○)

- ・「いる」割合は、『①かかりつけ医』(83.4%)が最も多く、次いで『②かかりつけ歯科医』(73.4%)、『③かかりつけ薬局』(64.0%)となっている。



問 54 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

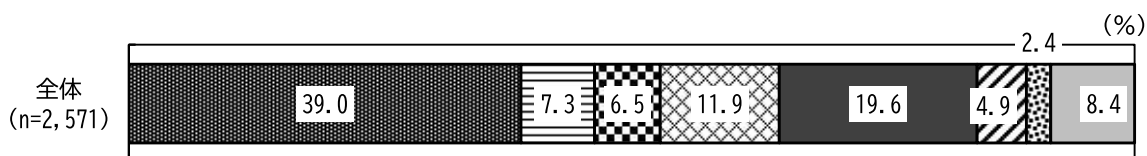
- ・「高血圧」(41.7%)が最も多く、次いで「目の病気」(21.2%)、「高脂血症(脂質異常)」(17.6%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(17.2%)、「糖尿病」(13.0%)、「心臓病」(12.3%)と続いている。
- ・一方、「ない」は12.8%となっている。



全体 (n=2,571)

問 55 あなたの介護予防に対するお考えをお答えください。(1つに○)

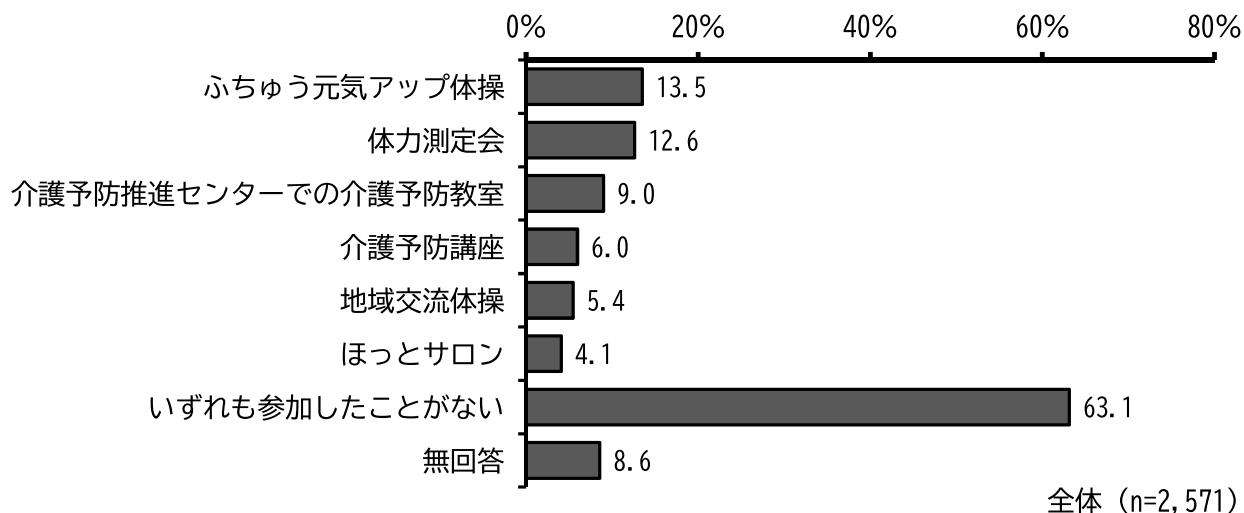
- ・「意識して取り組んでいる」(39.0%)が最も多く、次いで「興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない」(19.6%)、「きっかけがあれば取り組みたい」(11.9%)、「体力が落ちてきたら取り組みたい」(7.3%)、「もう少し歳をとってから取り組みたい」(6.5%)と続いている。



- 意識して取り組んでいる
- 興味はあるが、具体的な取り組み方が分からない
- きっかけがあれば取り組みたい
- 体力が落ちてきたら取り組みたい
- もう少し歳をとってから取り組みたい
- 興味・関心がない
- その他
- 無回答

**問 56 府中市では、いつまでも元気で暮らせるための介護予防事業を行っています。下記の事業に「参加したことがある」、又は「参加している」ものはありますか。（いくつでも○）**

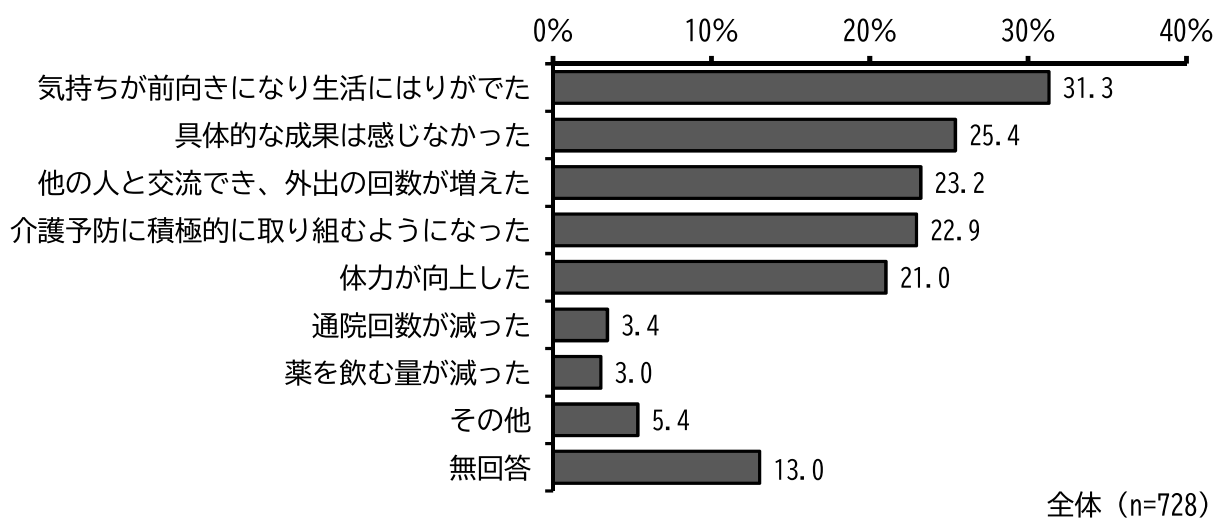
- ・「ふちゅう元気アップ体操（各地域での介護予防教室）」(13.5%)が最も多く、次いで「体力測定会」(12.6%)、「介護予防推進センターでの介護予防教室」(9.0%)、「介護予防講座」(6.0%)、「地域交流体操」(5.4%)と続いている。
- ・一方、「いずれも参加したことがない」は63.1%となっている。



**《問 56 で介護予防事業に1つでも「参加したことがある」、又は「参加している」とお答えの方におたずねします》**

**問 56-1 介護予防に取り組んだ結果、具体的な成果がありましたか。（いくつでも○）**

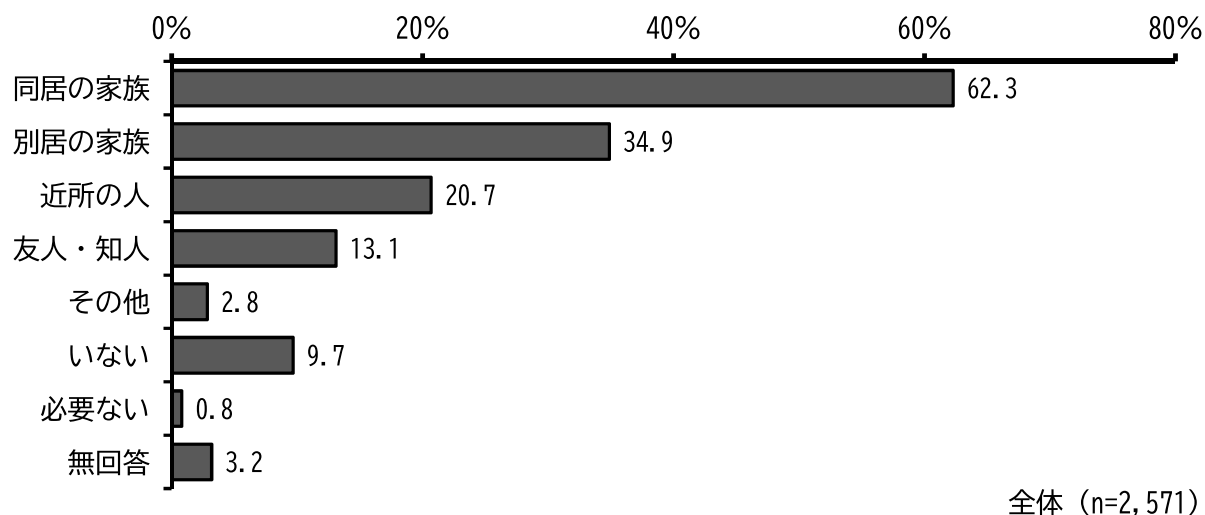
- ・「気持ちが前向きになり生活にはりがでた」(31.3%)が最も多く、次いで「具体的な成果は感じなかった」(25.4%)、「他の人と交流でき、外出の回数が増えた」(23.2%)、「介護予防に積極的に取り組むようになった」(22.9%)、「体力が向上した」(21.0%)と続いている。



## (11) 災害時の対応について

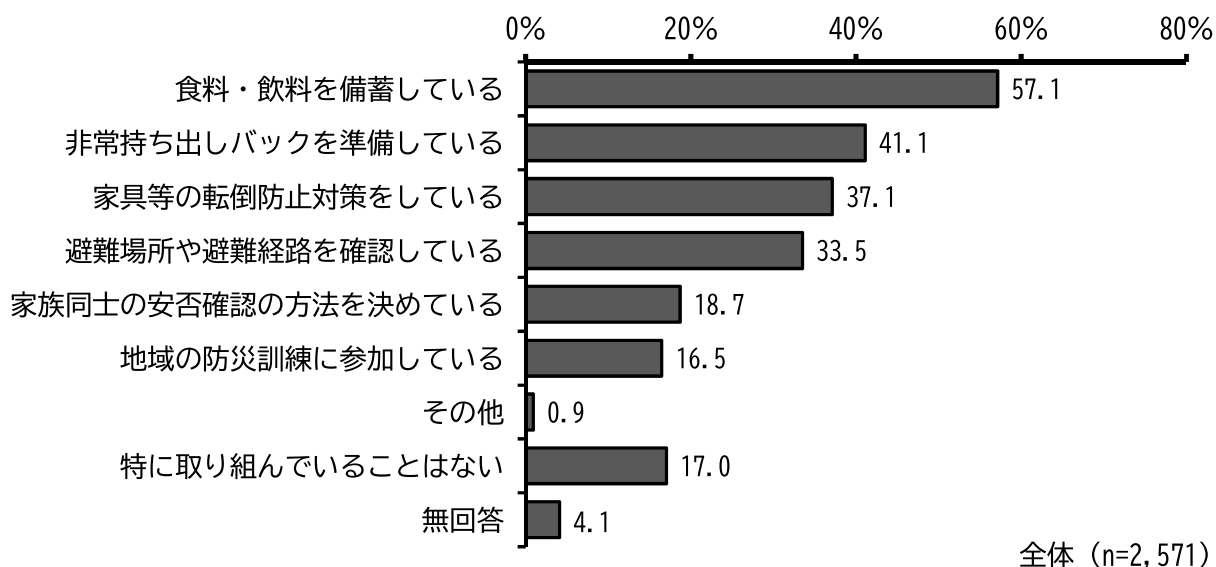
### 問 57 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- ・「同居の家族」(62.3%)が最も多く、次いで「別居の家族」(34.9%)、「近所の人」(20.7%)、「友人・知人」(13.1%)と続いている。
- ・一方、「いない」は9.7%、「必要ない」は0.8%となっている。



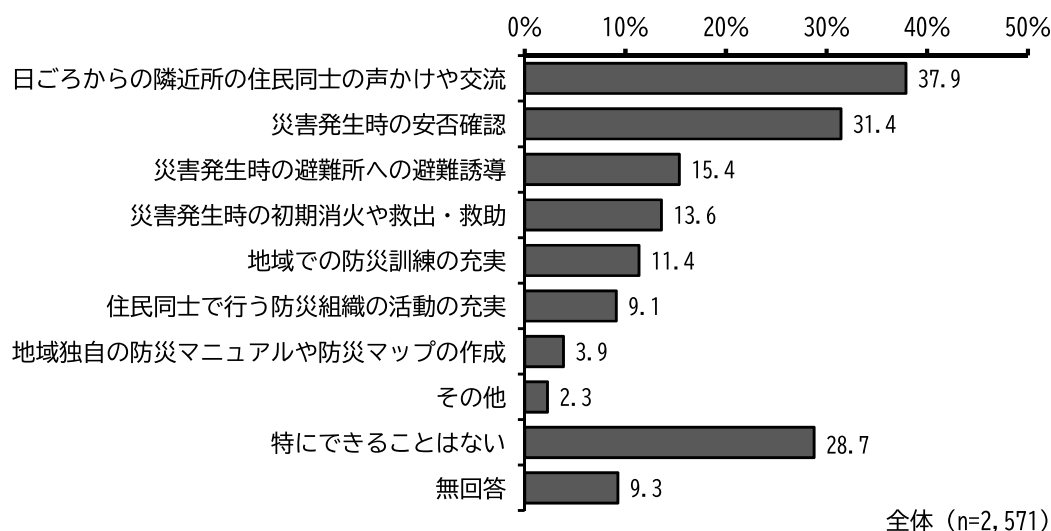
### 問 58 災害に備えて、あなたやご家族で取り組んでいることは何ですか。(いくつでも○)

- ・「食料・飲料を備蓄している」(57.1%)が最も多く、次いで「非常持ち出しバックを準備している」(41.1%)、「家具等の転倒防止対策をしている」(37.1%)、「避難場所や避難経路を確認している」(33.5%)と続いている。
- ・一方、「特に取り組んでいることはない」は17.0%となっている。



**問 59 災害に備えて、又は、災害が発生したときに近所の手助けが必要な高齢者等に対してあなたができるのはどのようなことですか。（いくつでも○）**

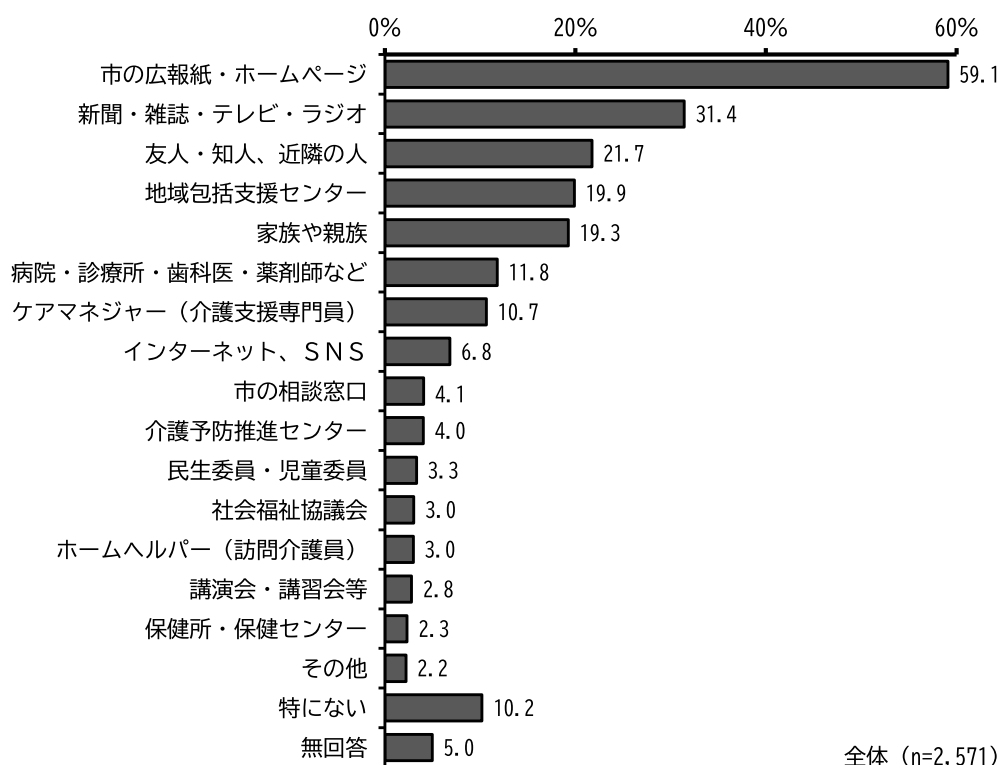
- ・「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(37.9%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(31.4%)、「災害発生時の避難所への避難誘導」(15.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(13.6%)、「地域での防災訓練の充実」(11.4%)と続いている。
- ・一方、「特にできることはない」は28.7%となっている。



**(12) 情報について**

**問 60 あなたは、健康や介護予防、福祉サービス、地域の活動等に関する情報をどこから（誰から）入手していますか。（いくつでも○）**

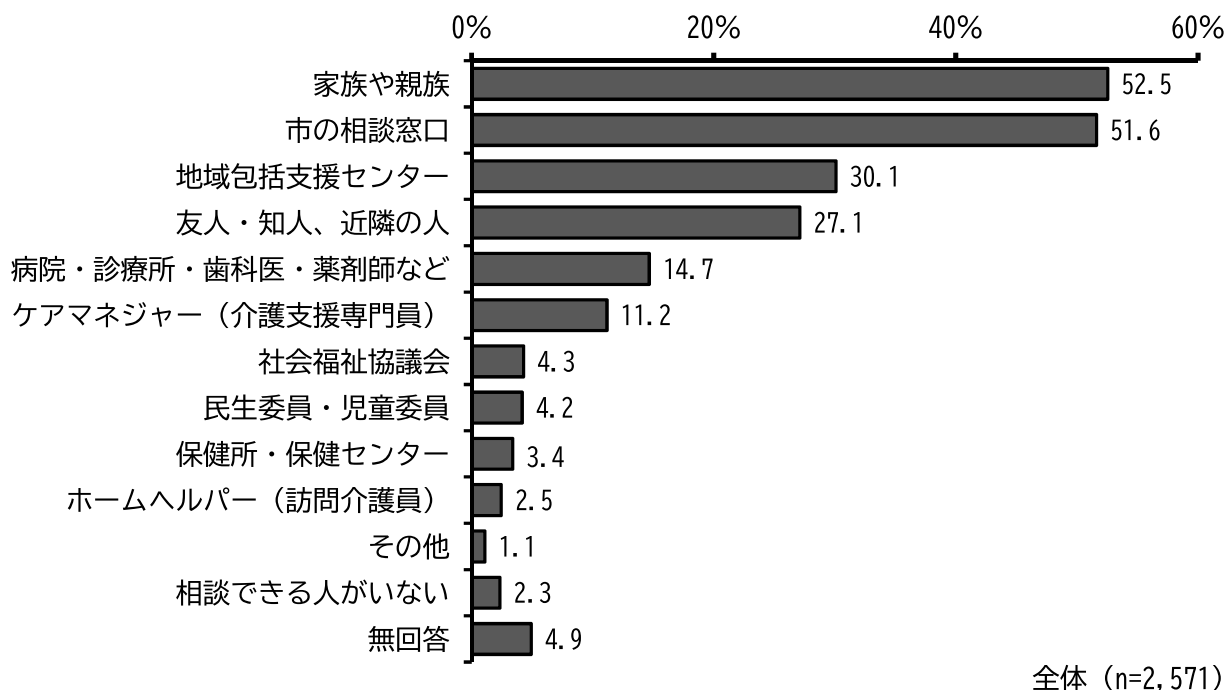
- ・「市の広報紙・ホームページ」(59.1%)が最も多く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」(31.4%)、「友人・知人、近隣の人」(21.7%)、「地域包括支援センター」(19.9%)、「家族や親族」(19.3%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は10.2%となっている。





**問 61 あなたは、暮らしの問題や福祉などについて困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（いくつでも○）**

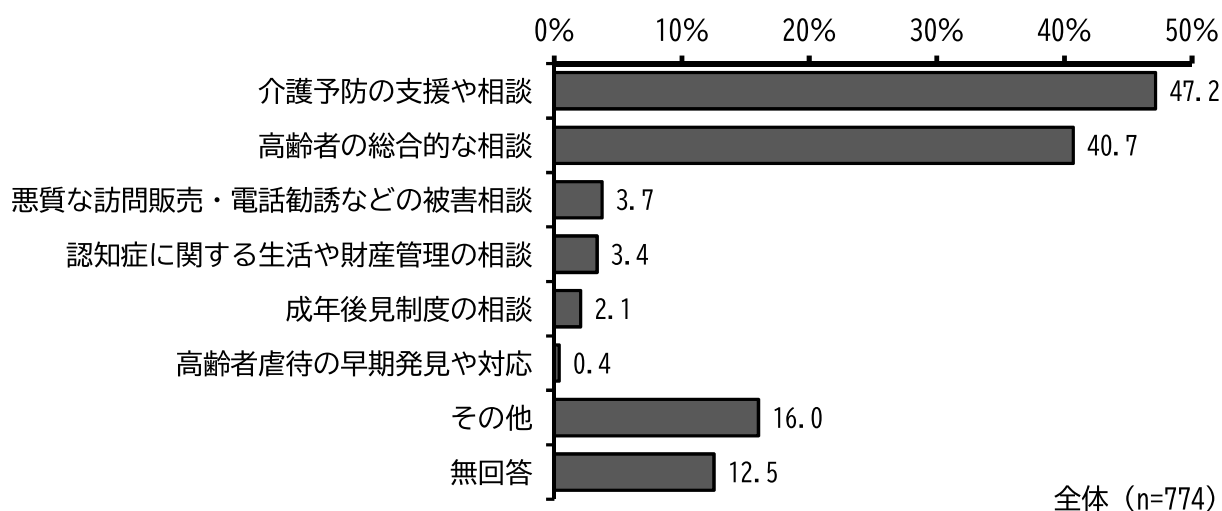
- ・「家族や親族」(52.5%)が最も多く、次いで「市の相談窓口」(51.6%)、「地域包括支援センター」(30.1%)、「友人・知人、近隣の人」(27.1%)と続いている。
- ・一方、「相談できる人がいない」は2.3%となっている。



**《問 61 で「2. 地域包括支援センター」とお答えの方におたずねします》**

**問 61-1 具体的にどのような目的で利用したことがありますか。（いくつでも○）**

- ・「介護予防の支援や相談」(47.2%)が最も多く、次いで「高齢者の総合的な相談」(40.7%)となっている。



## (13) 介護保険について

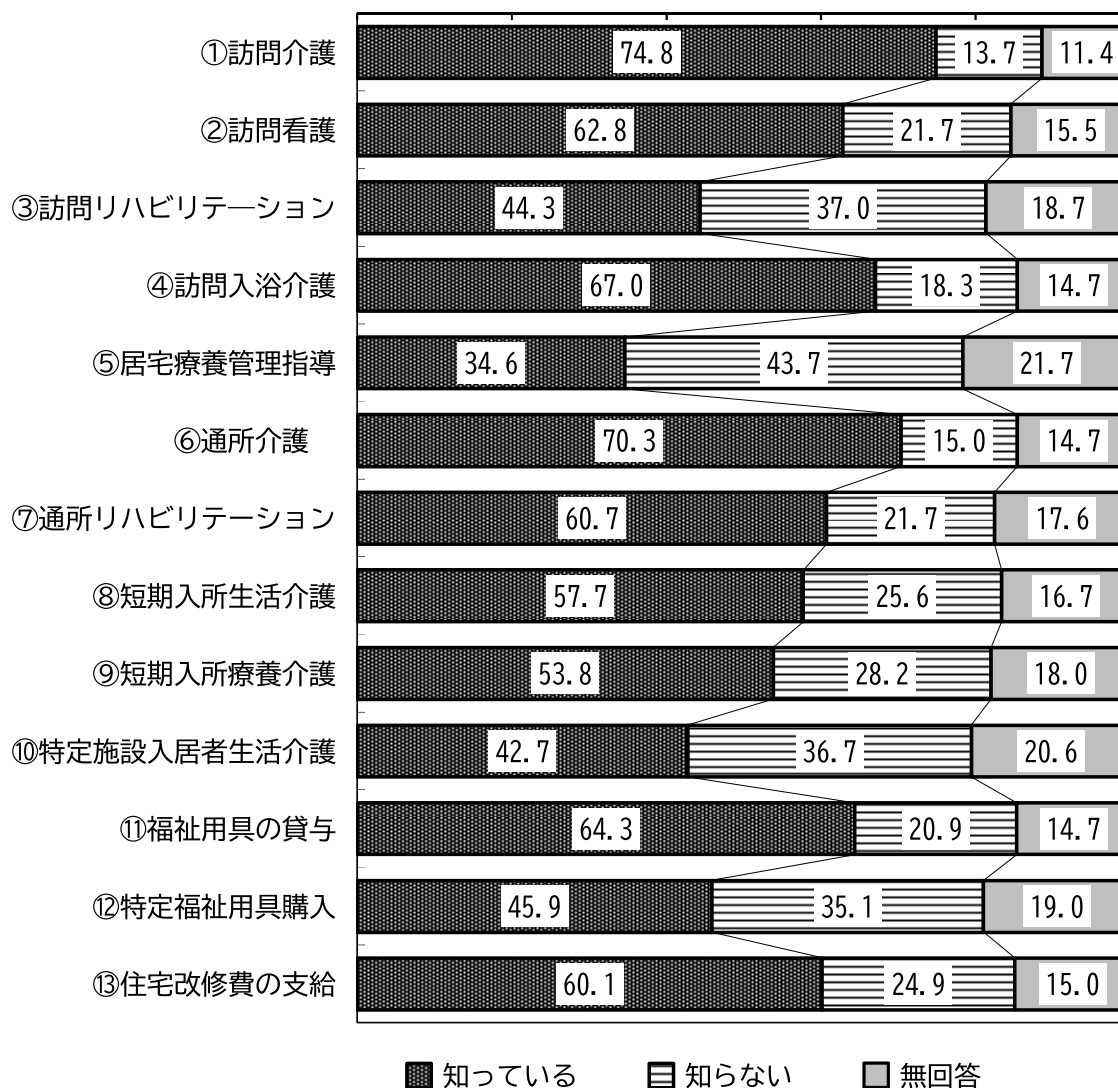
問 62 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っていますが、これらの サービスを知っていますか。(サービスごとに1つずつ○)

### ○居宅サービス

- ・「知っている」割合が高い居宅サービスは、『①訪問介護』(74.8%)が最も多く、次いで『⑥通所介護』(70.3%)、『④訪問入浴介護』(67.0%)、『⑪福祉用具の貸与』(64.3%)、『②訪問看護』(62.8%)と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い居宅サービスは、『⑤居宅療養管理指導』(43.7%)が最も多く、次いで『③訪問リハビリテーション』(37.0%)、『⑩特定施設入居者生活介護』(36.7%)、『⑫特定福祉用具購入』(35.1%)と続いている。

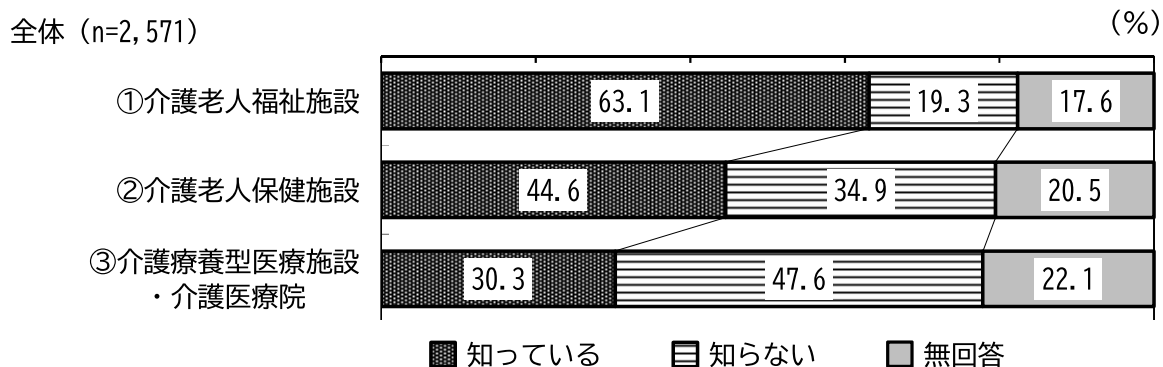
全体 (n=2,571)

(%)



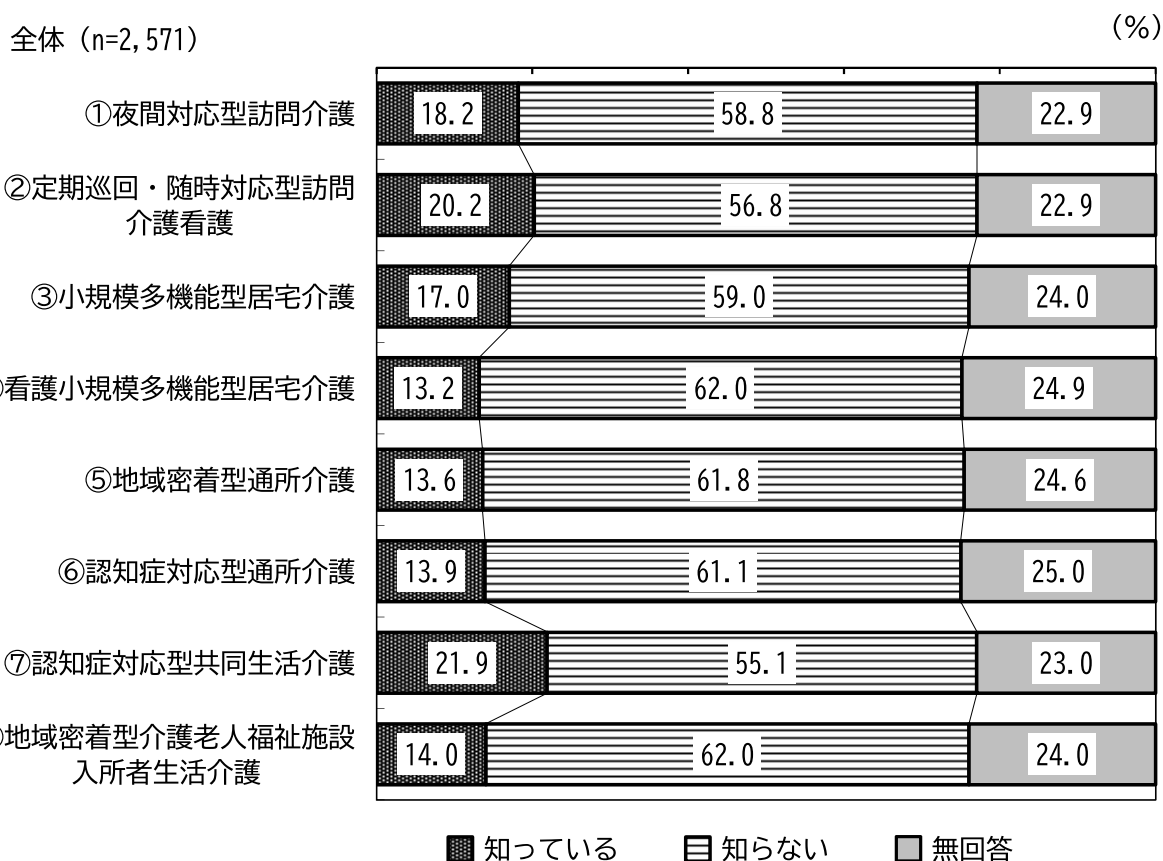
## ○施設サービス

- ・「知っている」割合が高い施設サービスは、『①介護老人福祉施設』(63.1%)が最も多く、次いで『②介護老人保健施設』(44.6%)、『③介護療養型医療施設・介護医療院』(30.3%)と続いている。
- ・一方、「知らない」割合が高い施設サービスは、『③介護療養型医療施設・介護医療院』(47.6%)が最も多く、次いで『②介護老人保健施設』(34.9%)となっている。



## ○地域密着型サービス

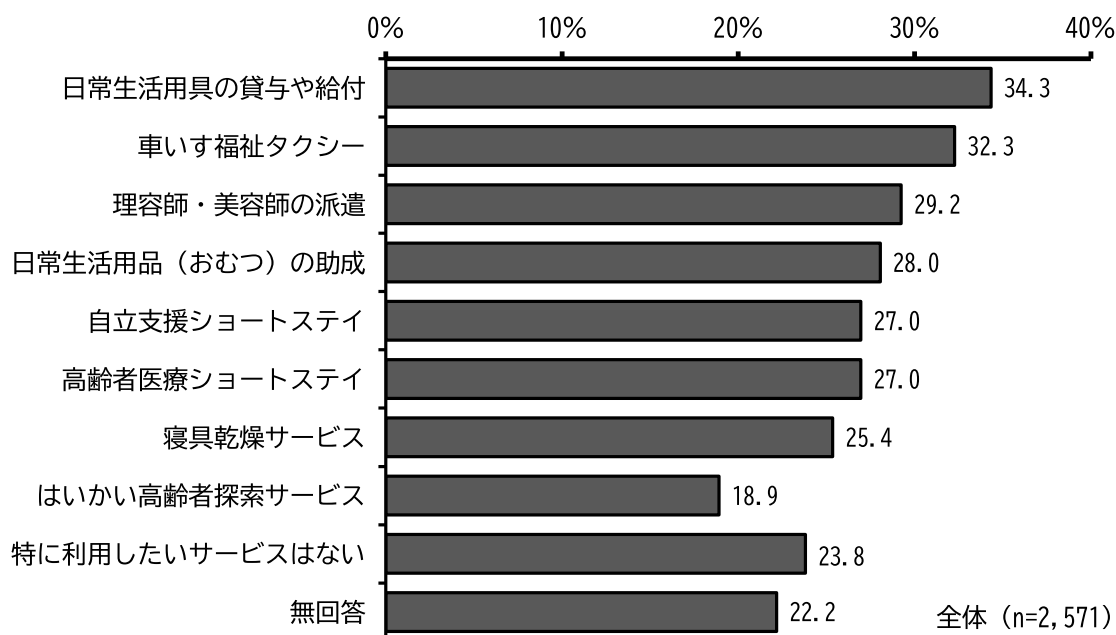
- ・「知っている」割合が高い地域密着型サービスは、『⑦認知症対応型共同生活介護』(21.9%)が最も多く、次いで『②定期巡回・随時対応型訪問介護看護』(20.2%)となっている。
- ・一方、「知らない」割合が高い地域密着型サービスは、『④看護小規模多機能型居宅介護』『⑧地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護』(ともに62.0%)が最も多く、次いで『⑤地域密着型通所介護』(61.8%)、『⑥認知症対応型通所介護』(61.1%)、『③小規模多機能型居宅介護』(59.0%)と続いている。



## (14) 高齢者保健福祉サービスについて

問 63 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも○)

- ・「日常生活用具の貸与や給付」(34.3%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(32.3%)、「理容師・美容師の派遣」(29.2%)、「日常生活用品(おむつ)の助成」(28.0%)、「自立支援ショートステイ」「高齢者医療ショートステイ」(ともに27.0%)、「寝具乾燥サービス」(25.4%)と続いている。
- ・一方、「特に利用したいサービスはない」は23.8%となっている。



## (15) 在宅療養について

問 64 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)

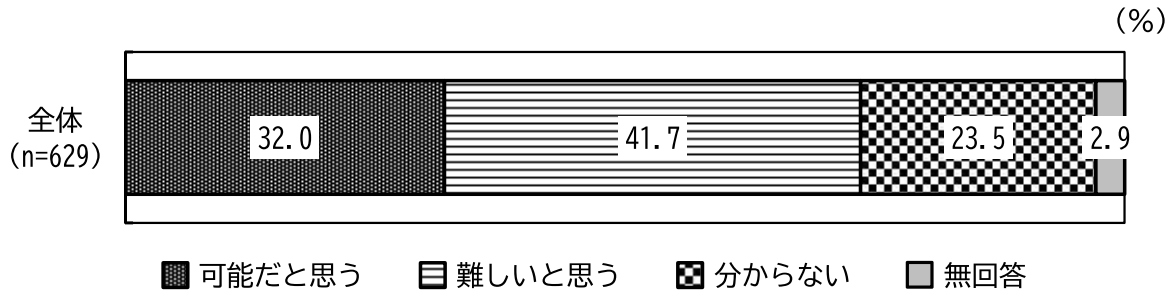
- ・「分からない」が36.8%、「そう思わない」が31.0%、「そう思う」が24.5%となっている。



《問 64 で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします》

問 64-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)

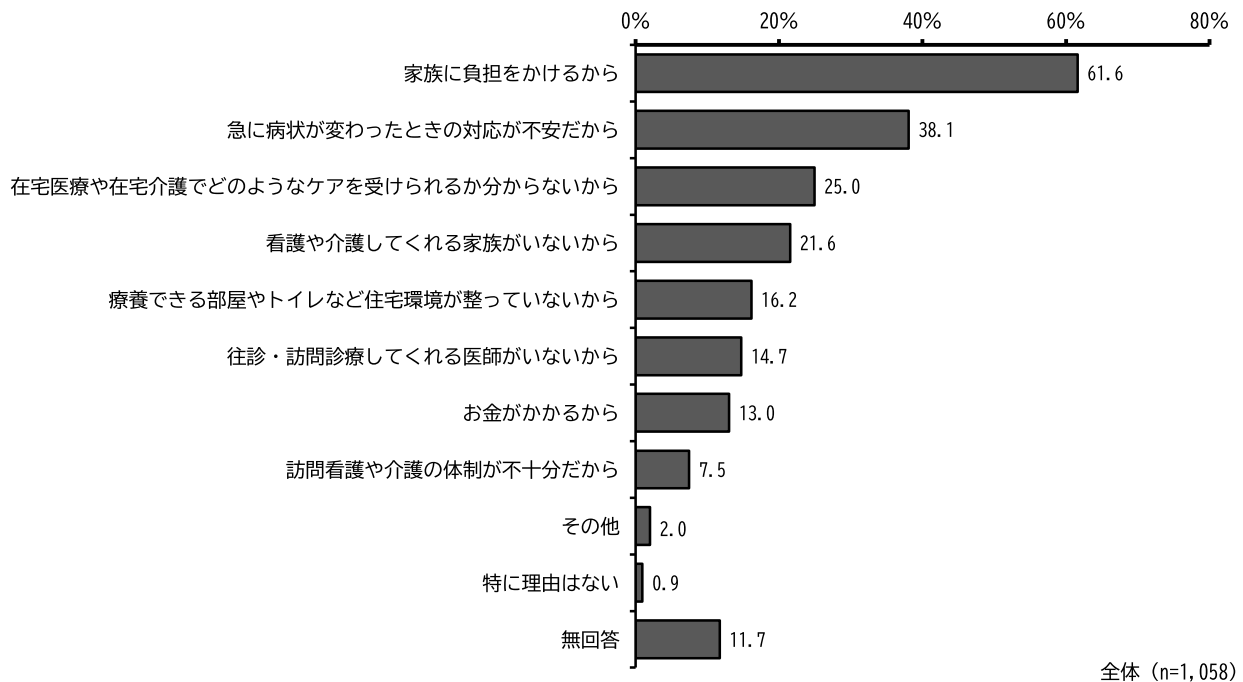
- ・「難しいと思う」が41.7%、「可能だと思う」が32.0%、「分からない」が23.5%となっている。



《問 64 で「2. そう思わない」又は問 64-1 で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします》

問 64-2 それはなぜですか。(3つまでに○)

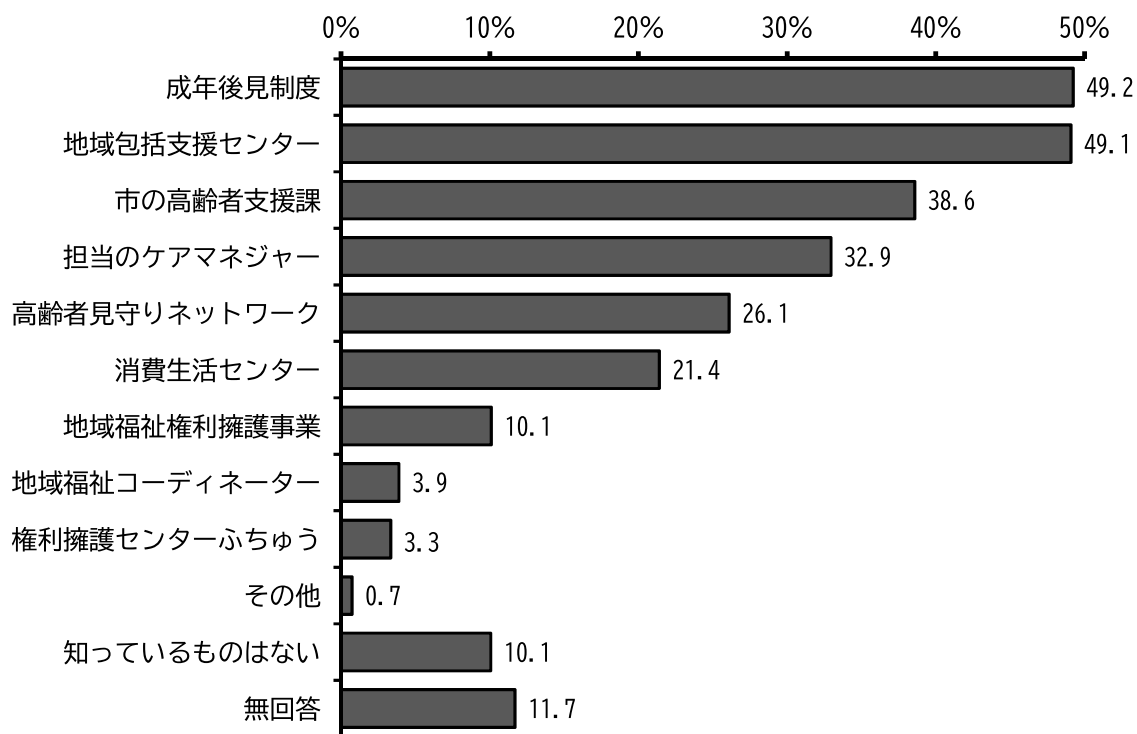
- ・「家族に負担をかけるから」(61.6%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(38.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるか分からないから」(25.0%)、「看護や介護してくれる家族がないから」(21.6%)と続いている。
- ・一方、「特に理由はない」は0.9%となっている。



## (16) 高齢者の権利擁護について

問 65 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも○)

- ・「成年後見制度」(49.2%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(49.1%)、「市の高齢者支援課」(38.6%)、「担当のケアマネジャー(介護支援専門員)」(32.9%)と続いている。
- ・一方、「知っているものはない」は10.1%となっている。



全体 (n=2,571)

問 66 最後に、市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについて、ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にお書きください。

※集計中